Panasonic®

SD マルチカメラ

取扱説明書

D-snap

品番 SV-AV50

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは SD マルチカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（62 ～ 70 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT0F77

もくじ

はじめに

準備

使ってみよう

より楽しく

パソコンで

便利な情報

ソフトウェア使用許諾書

付属のソフトウェアについては、「ソフトウェア使用許諾書」の内容を承諾していただくことが使用の条件になっています。

第１条　権利

お客様は松下電器産業株式会社より以下の条件に基づき本ソフトウェア(ＣＤ−ＲＯＭ、及びマニュアルなどに記載された情報をいいます)を日本国内で使用する権利の承諾を受けますが、著作権がお客様に移転するものではありません。著作権は松下電器産業株式会社および / または松下電器産業株式会社へのライセンス許諾者が所有します。

第２条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェア及びそのコピーしたものを第三者に使用許諾あるいは貸与させることはできません。

第３条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管(バックアップ)の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用コンピューター

本ソフトウェアは、コンピューター１台に対しての使用とし、複数台のコンピューターで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害が生じたとしても弊社および販売店等は責任を負いません。

第６条　アフターサービス

弊社の指定する窓口まで電話または FAX にてお問い合わせください。
お問い合わせの本ソフトウェアに関して、弊社が知り得た内容の誤り(バグ)や使用方法の改良などの情報をお知らせいたします。
なお、本ソフトウェア仕様は予告なく変更することがあります。

第７条　免責

本ソフトウェアのご使用にあたり生じた、お客様の損害および第三者からお客様になされた損害賠償等の請求による損害について、弊社および販売店等に故意または重過失がない限り、弊社および販売店等は一切責任を負いません。

第８条　輸出管理

お客様は、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、日本国および米国の輸出管理に関連する法規を遵守してください。

第９条　その他

上記第６条のアフターサービスには、ご愛用者登録が必要です。

ご使用前に

■ **年月日・時刻設定について**

お買い上げ時は、年月日・時刻設定はされておりません。最初に電源を入れると、右記の画面が表示されますので、最初に年月日・時刻設定を行ってください。(P19)

PRESS MENU TO SET CLOCK

まずお読みください

- 大切な撮影前には、必ず事前に試し撮りを行い、正常に記録されていることを確かめてください。
- 本機およびカードなどの不具合で記録されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- あなたが撮影(録画など)、録音したものは、個人として楽しむ以外には、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、お気を付けください。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロビジョン社の許可が必要です。この製品を分解したり、改造することは禁じられています。
- 他機で記録、作成した内容の本機での再生、本機で記録した内容の他機での再生はできない場合がありますので、あらかじめお確かめください。
- 本機で使用できるのはSDメモリーカードです。(マルチメディアカードのご使用については保証いたしません)
- 本書内の製品姿図・イラストは実物と多少異なりますが、ご了承ください。
- 本書では参照いただくページを(P00)、➜P00 で示しています。
- 本書ではバッテリーパックのことをバッテリーと記載しています。

- SD ロゴは商標です。
- Microsoft®、Windows®、DirectX®、Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe®、Adobe Acrobat® および Acrobat Reader®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- Intel®、Celeron® は Intel Corporation の各国での登録商標もしくは商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson multimedia からライセンスを受けています。

付属品

すべての付属品が入っていることをご確認ください。
（品番は 2003 年 10 月現在のものです）

バッテリーパック	USB クレードル VSK0655	AC アダプター VSK0647	リモコン N2QCAD000005
ステレオ インサイドホン L0BAB0000173	映像 / 音声コード K2KC4CB00005	キャリングケース VFC4030	ハンドストラップ VFC4029
CD-ROM （USB ドライバー/ SD-MovieStage）	USB 接続ケーブル K1HA09BD0001	クリーニングクロス VFC3778	

■楽しさ広がる別売アクセサリー

・ソフトケース /RP-SB050-A
・SD モバイルプリンター/SV-P25
・バッテリーパック /VW-VBA05（530 mAh）
・SD アクセサリーセット /VW-SJK10（SD-Jukebox Version 4 Light Edition）※1･※2
・SD オーディオ PC レコーディングソフト /SH-SS20（SD-Jukebox Version 4 Standard Edition）※2

※1　SD-MovieStage Ver.2.5 と連携させるには連携モジュールが必要です。
　　詳しくはホームページをご覧ください。 http://panasonic.jp/support/d_snap/index.html
※2　音楽を記録するには、SD-Jukebox Version 4 が必要です。

■ホームページアドレスへのアクセスをお待ちしております

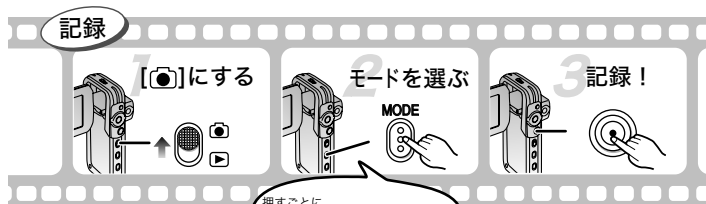
パナソニックのホームページをご覧ください。

商品情報について
http://panasonic.jp

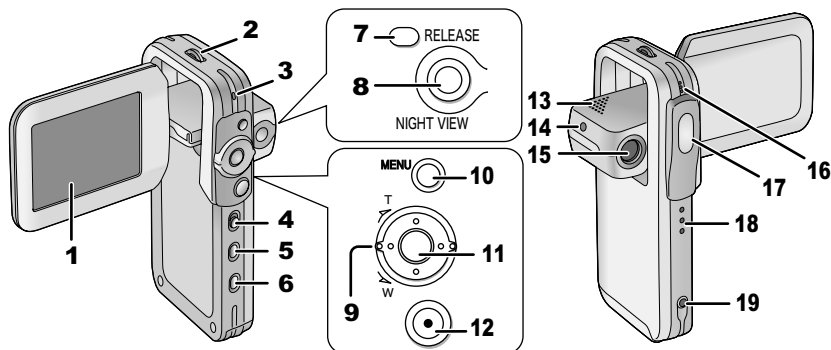
サポート情報について
http://panasonic.jp/support

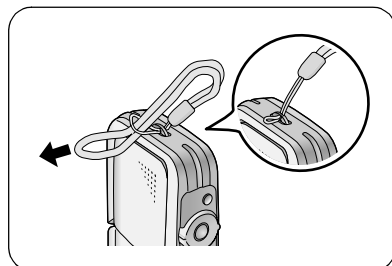
簡単ガイドと主な機能

詳しくは、本文をお読みください。

再生

押すごとに、
静止画[PICTURE]→動画[MPEG4]
→音声[VOICE]→音楽[AUDIO]
と変わります。

各部の名前と働き

本機のボタン・端子などです。詳しくは、関係するページをお読みください。

1 液晶モニター(P14、39)

2 ハンドストラップ取付部

3 電源 / カードアクセスランプ(P16)
電源を入れると点灯、カードへのアクセス中・充電中は点滅します。

4 記録 / 再生切換えスイッチ(P17)

5 モード切換ボタン[MODE](P17)

6 電源ボタン[⏻](P16)

7 リリースボタン(P14)

8 ナイトビューボタン[NIGHT VIEW](P32)

9 ズームレバー(P27、32)
撮影時はズーム倍率、再生時は音量を調整するときに使います。

10 メニューボタン[MENU](P18)

11 ジョグボール
以下のような操作を行います。
・ メニューの選択・設定(P18)
・ 再生モード時の操作
・ 再生ファイルの選択
・ 逆光補正など、撮影時の補助機能

12 記録 / 停止ボタン(P20、22、24)
静止画・動画・音声の記録 / 記録停止を行います。

13 スピーカー

14 ハンドストラップ固定穴

突起を差し込んで固定しておくと、撮影時にハンドストラップがレンズにかかるのを防ぐことができます。

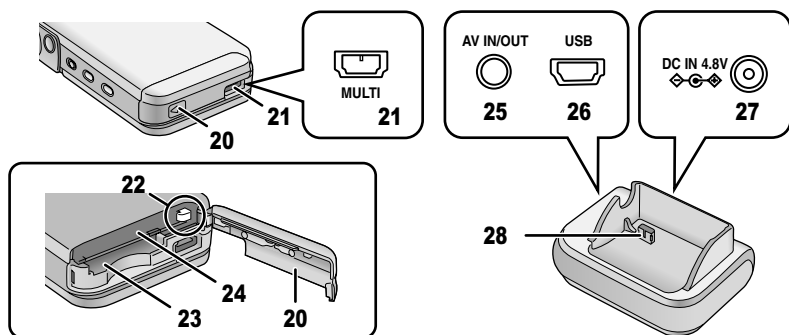
15 レンズ

16 マイク(モノラル)(P24)
音声・動画の記録時に使います。

17 フラッシュ発光部 (P20)

18 グリップ部(P15)

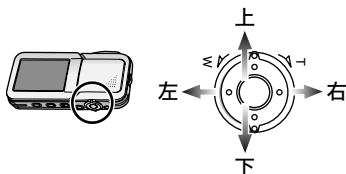
19 ヘッドホン/リモコン端子[🎧](P28)

準備

20 カード / バッテリー扉（P11）
21 **USB クレードル用マルチコネクター[MULTI]**（P10）
USB クレードル（付属）に付けるときに使います。
22 **バッテリーロックつまみ**（P12）
23 **カード挿入口**（P13）
24 **バッテリー挿入口**（P11）

[USB クレードル]
25 **映像 / 音声入出力端子 [AV IN/OUT]**（P29、30）
テレビなどの外部機器とつなぎます。
26 **USB 接続端子**（P46）
パソコンのUSB端子とつなぎます。
27 **DC 入力端子[DC IN 4.8V]**（P10）
AC アダプター（付属）をつなぎます。
28 **本体接続用マルチコネクター**（P10）
21 に差し込んで、本体を付けます。

ジョグボールの操作

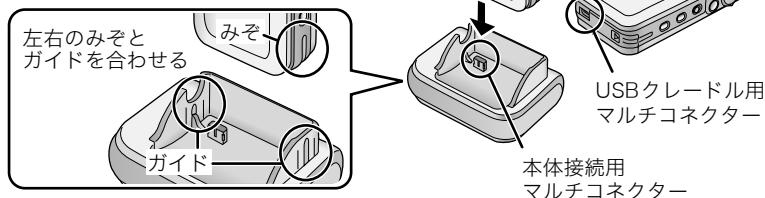
上下左右に転がすと項目やファイルの選択など

ボールを上から押すと項目の決定やファイルの再生など

液晶モニターを裏返してたたむと、ジョグボールの上下左右が図のように変わります。

● 再生[▶]モード時にメニューボタンを約2秒以上押し続けると、[● HOLD]が表示され、誤動作防止のためジョグボールとズームレバーが効かなくなります。
メニューを表示することもできません。
（メニューボタンを約2秒以上押し続けると操作できるようになります）

USB クレードルに付ける

USB クレードルに付けると、充電やパソコンとの接続ができます。
また、テレビや外部音声機器で映像・音楽が楽しめます。

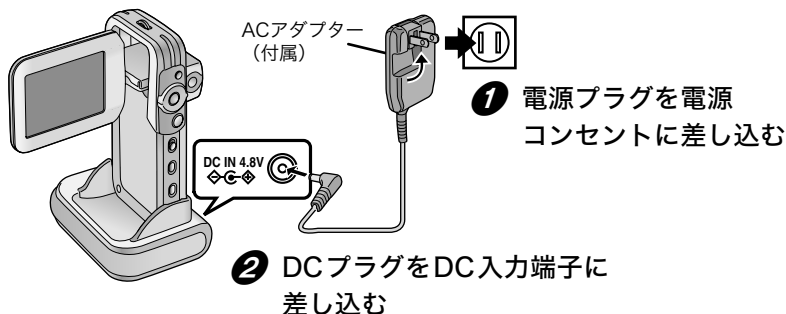
1 USB クレードルの本体接続用マルチコネクターと本機のUSBクレードル用マルチコネクターの向きを合わせて、奥まで確実に差し込む

2 必要に応じてコードをつなぐ

- 電源コンセントにつないで使う
- テレビなどの外部機器で映像を見る ➜ P29
- 外部機器の映像を記録する ➜ P30

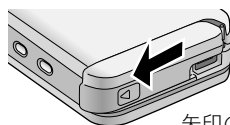
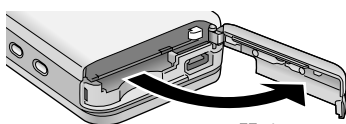
電源コンセントにつないで使う

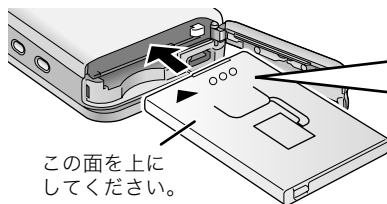
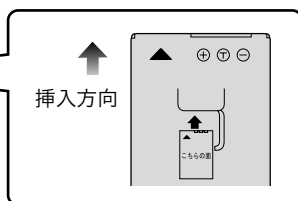
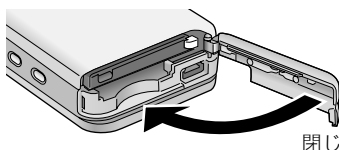
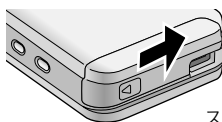
接続後に、電源を入れると本機が使えるようになります。

1 電源プラグを電源コンセントに差し込む

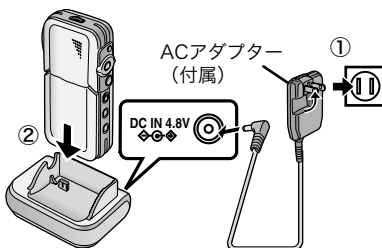
2 DCプラグをDC入力端子に差し込む

- USBクレードルに付けるときは、本機の電源を切っておいてください。
- AC アダプター使用時も、バッテリーを入れておくことをおすすめします。

バッテリーを入れる / 充電する

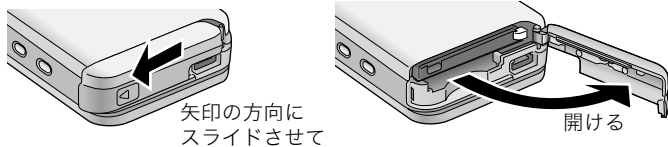
バッテリーを使うと、屋外や電源コンセントのない場所でも、記録･再生ができます。 **充電時は、本機の電源を切っておいてください。**

❶ カード / バッテリー扉を開ける

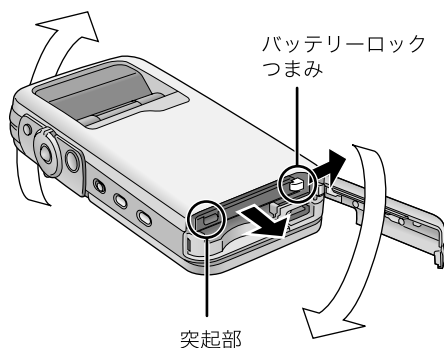
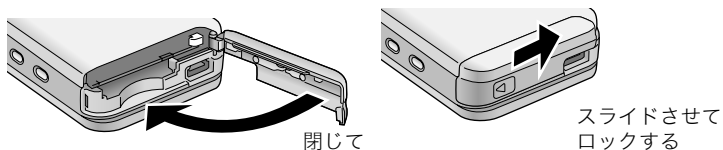
❷ バッテリーを矢印の向きに 奥までまっすぐ入れる

❸ カード / バッテリー扉を閉じる

❹ 電源コンセントにつなぎ、USB クレードルに付ける（左ページ参照）

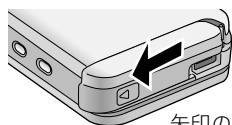
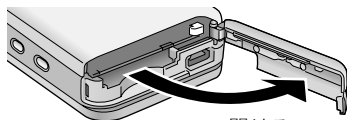
- 電源ランプが点滅し、充電が始まります。消灯したら、充電完了です。

- 点滅速度が速い / 遅いときは ➜ P74
- 充電時間･記録時間のめやす ➜ P54
- 付属のバッテリー1 本あたりの充電時間は約 1 時間 40 分です。

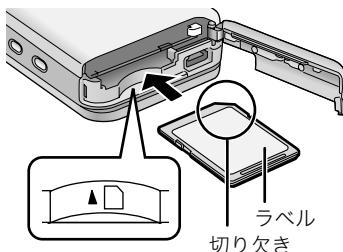
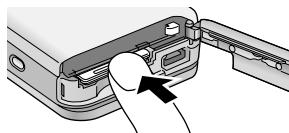
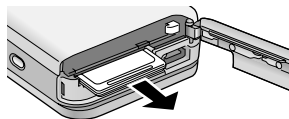
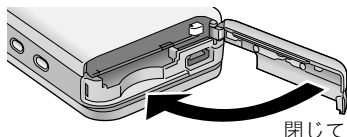
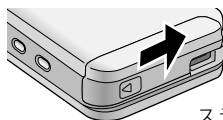
準備

バッテリーを出す

❶ カード / バッテリー扉を開ける

❷ バッテリーロックつまみを解除し、バッテリー挿入口を下にして取り出す

- バッテリーを取り出せないときは、バッテリーの突起部を引っ張って取り出してください。

❸ カード / バッテリー扉を閉じる

カードを入れる(出す)

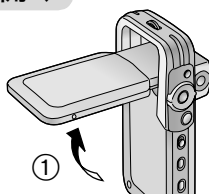
カードの出入れ時は必ず電源を切っておいてください。

❶ カード / バッテリー扉を開ける

❷ カードの向きを確認し、カチッと音がするまでまっすぐ押し込む

カードを取り出すとき

❸ カード / バッテリー扉を閉じる

- 本機では SD メモリーカードが使えます。
- カードアクセス中は電源 / カードアクセスランプ(P8)が点滅します。カードを抜いたり、電源を外さないでください。

液晶モニターを使う

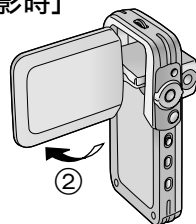
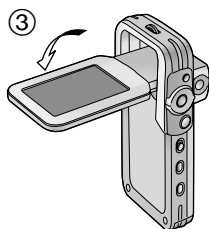
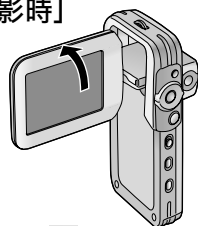
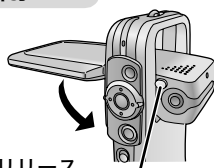
液晶モニターを開くと、レンズが現れます。

開く

液晶モニターを両側から指で挟んで開く。

①

液晶モニターの反対側にレンズが現れます。

レンズ

閉じる

リリースボタンを押しながら閉じる。
(指を挟まないようお気を付けください)

リリースボタン

RELEASE

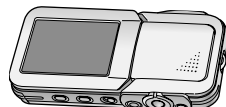
[対面撮影時]

回す

②

[通常撮影時]

③

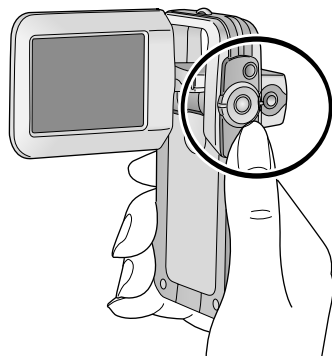
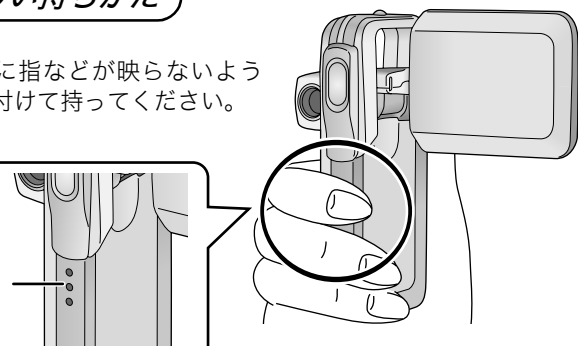
[再生時]

- 液晶モニターを裏返してたたむと、ジョグボールの上下左右が変わります。(P9)
- 記録[📷]モード時は、外部入力映像を記録できます。(P30)

① 方向に 90゜、② 方向に 90゜、③ 方向に 180゜まで回転します。それ以上回すと、本機の故障につながります。

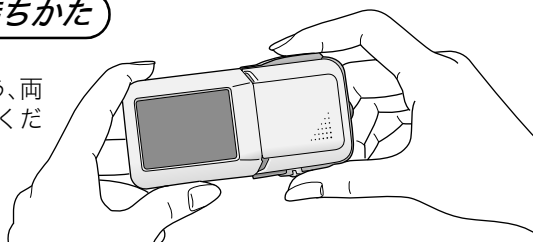
- 液晶モニターの明るさ・色の濃さを調整するには ➜ P39

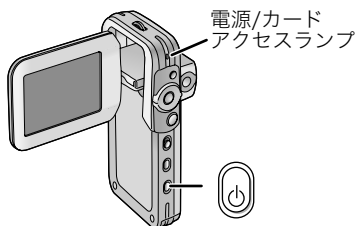
撮影時の正しい持ちかた

レンズに指などが映らないように気を付けて持ってください。

突起の部分に人差し指を置いてください。

液晶モニターを見ながら撮影してください。

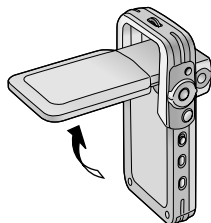
再生時の正しい持ちかた

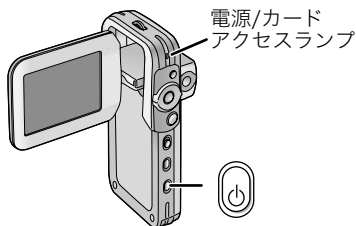
本機を落とさないよう、両手でしっかりと持ってください。

電源を入れる

1 約 1 秒以上押す

起動画面
（しばらくお待ちください）

●電源が入り、電源 / カードアクセスランプが点灯 / 点滅します。

メニュー(P18)で「自動電源オン」を「入」に設定しておくと、液晶モニターを開いたときに自動的に電源が入ります。

●バッテリーを取り出すと、「切」に戻ります。(バッテリーの容量を使い切ったときにも「切」に戻ることがあります)

電源を切る

1 約 2 秒以上押す

●電源が切れ、電源 / カードアクセスランプが消灯します。

●液晶モニターを閉じても、電源は切れません。

●約 5 分以上操作しないと、自動的に電源が切れます。再度、電源を入れ直してください。(カードとバッテリーがどちらも入っていないときは、自動的に電源は切れません)

動作モードを選ぶ

電源を入れたときは、前に選んだ動作モードを記憶しています。

❶ 記録モードにするには［📷］
再生モードにするには［▶］にする

［記録モード］　［再生モード］

❷ ［MODE］を押して、動作モードを選ぶ

MODE

●押すごとに、以下のようにモードが切り換わります。

記録モード［📷］
PICTURE➜MPEG4➜VOICE➜PICTURE
再生モード［▶］
PICTURE➜MPEG4➜VOICE➜AUDIO➜PICTURE

PICTURE

切り換えた数秒後

アイコン表示になります。

準備

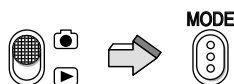
■ 本機の動作モード

静止画 [PICTURE]:（ピクチャー）	記録［📷］	：静止画（JPEG 形式）で画像を記録
	再生［▶］	：JPEG 形式で記録した静止画を再生
動画 [MPEG4]:（エムペグフォー）	記録［📷］	：MPEG4 形式で映像（音声）を記録
	再生［▶］	：MPEG4 形式で記録した映像（音声）を再生
音声 [VOICE]:（ボイス）	記録［📷］	：音声（VOICE）を記録
	再生［▶］	：記録した音声（VOICE）を再生
音楽再生 [AUDIO]:（オーディオ）	再生［▶］	：SD-Jukebox Version 4（別売）で記録した音楽データを再生（本機では再生のみできます）

メニュー画面を操作する

本機の機能の多くは、メニュー画面で設定します。（メニューの一覧は ➜ P50）

❶ 動作モードを設定する （P17）

●設定したモードで使用可能なメニューが操作できます。

❷ [MENU]をポンと押す

●メニュー画面が表示されます。
（ファイルの再生中は表示されません）

[ ]・MPEG4 モードの例

❸ 上下に転がして項目を選び、

（項目を選んで設定する場合）
左右に転がして設定する

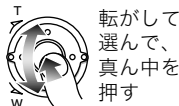
（項目を実行する場合）
押して実行する

・項目の実行
・サブメニューへ
（P50、51）

❹ [MENU]を押す

●メニュー画面が消えます。

年月日・時刻を合わせる

ご購入時に年月日・時刻は設定されておりません。([PRESS MENU TO SET CLOCK]と表示されます)ご使用前に設定してください。

❶ [📷] にする

❷ [MENU]を押して[セットアップ]を選ぶ

転がして
選んで、
真ん中を
押す

[📷]・MPEG4 モードの例

❸ [時計設定]を選ぶ

転がして
選んで、
真ん中を
押す

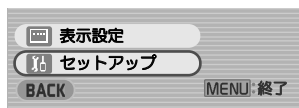
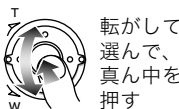
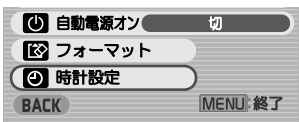
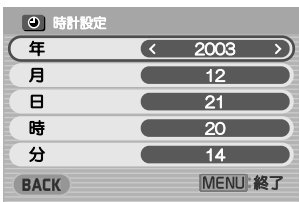
❹ [年]を選び、設定する

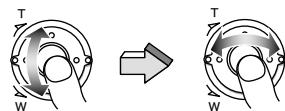
選んで

合わせる

時計設定

年	2003
月	12
日	21
時	20
分	14

BACK　MENU:終了

❺ 手順 ❹ と同様に、[月]、[日]、[時]、[分]を設定する

●設定後、[MENU]を押すと設定画面が消えます。
●時間は 24 時間表示です。

内蔵日付用電池を充電する

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。一度、時計設定をしたあとに[PRESS MENU TO SET CLOCK]と表示が出たときは、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電したあと、年月日・時刻を合わせてください。

❶ 本機を USB クレードルに付ける(P10)

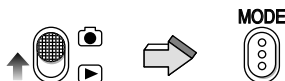
❷ 約 12 時間そのままにしておく(本機の電源は入れないでください)

●内蔵電池が充電されます。

準備

静止画を撮る

カードに静止画を記録します。

❶ [📷]にし、[PICTURE]モードに設定する（P17）

❷ [MENU]を押す

❸ [画像サイズ]を希望の設定にする

●[1600 × 1200]、[1280 × 960]、[640 × 480]から選びます。

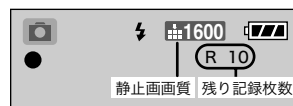
❹ [静止画画質]を希望の設定にする

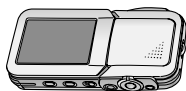
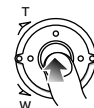
●[ファイン]、[ノーマル]から選びます。

❺ フラッシュを使うときは、[フラッシュ]を[入]または[オート]にする

●設定後、[MENU]を押します。

❻ 記録 / 停止ボタンを押す

●静止画がカードに記録されます。

■ 直前に記録した映像を確認する

液晶モニターを裏返してたたむ

●液晶モニターを元に戻すまで静止画を表示します。

または

ジョグボールを押す

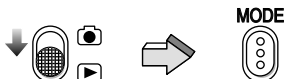
●ジョグボールを押して表示した場合、約５秒後にカメラの映像に戻ります。

●確認画面表示中に[MENU]を押すと、[ファイル削除] 画面が出ます。[はい]を選び、ジョグボールを押すと、その画像を削除できます。
●ズーム・逆光補正・ホワイトバランス
➜ P32 ～ 34
●カードに記録できる枚数のめやす ➜ P54
●[フラッシュ]が[入]の場合、記録 / 停止ボタンを押すと、必ずフラッシュが働きます。[オート]の場合、暗い場所で⚡Aが表示されると、フラッシュが働きます。
●フラッシュの使用可能範囲は約 60 ～ 100 cm です。

静止画を見る

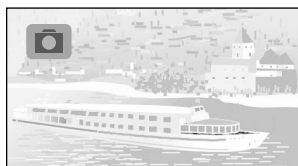
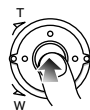
記録した静止画を再生します。

❶ ［▶］にし、［PICTURE］モードに設定する（P17）

●一覧画面が表示されます。

❷ 再生ファイルを選ぶ

❸ ジョグボールを押す

●選んだ静止画が再生されます。

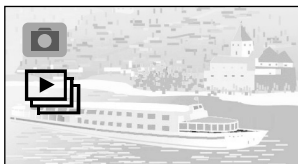
ジョグボールの操作	
一覧画面に戻る	:押す
次(前)の画像へ	:右(左)に転がす
スライドショー	:1 秒以上押す

■ すべての静止画を順番に再生する（スライドショー）

再生中にジョグボールを約 1 秒以上押す

(下に転がすと一時停止、スライドショーに戻るには上に転がす)

●すべての静止画が約 3 秒ずつ再生されます。

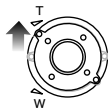
●ジョグボールを押すと停止します。

T
W

■ 再生映像を約 2 倍に拡大する

再生中にズームレバーを T 側に動かす

●W 側に動かすと、元のサイズに戻ります。

●拡大中は、ジョグボールを上下左右に転がして画像を移動できます。(元のサイズに戻すまでファイルの選択はできません)

T
W

●再生している画像によっては拡大できません。

●テレビで見るには ➜ P29

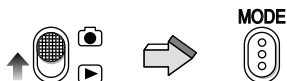
●SD-MovieStage Ver.2.5(付属)で設定した P. スライドショーを再生するには ➜ P38

●パソコン上で見るときは ➜ P42

使ってみよう

動画を撮る（MPEG4 動画記録）

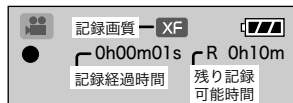
カードに MPEG4 形式の映像を記録します。

❶ [ ] にし、[MPEG4] モードに設定する（P17）

❷ [MENU]を押す

❸ [記録モード]を選び、希望の設定にする

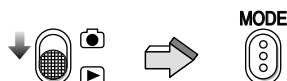
- [エクストラファイン]、[スーパーファイン]、[ファイン]、[ノーマル]、[エコノミー]から選びます。
- 設定後、[MENU]を押します。

❹ 記録 / 停止ボタンを押す

- 記録が始まります。
- 再度押すと、記録を停止します。

- [記録モード]を[エコノミー]または[ノーマル]にすると画質が劣化します。（音質は変わりません）
- ズーム・ナイトビュー（高感度）モード・逆光補正・ホワイトバランス ➜ P32 ～ 34
- 記録中にズーム、ナイトビュー（高感度）モード、逆光補正、ホワイトバランスの設定を変えることはできません。記録を始める前に設定を確認しておいてください。
- 記録の停止後に再度記録すると、別ファイルとして保存されます。
- 本機の[エクストラファイン]、[スーパーファイン]で記録した MPEG4 動画は、本機以外での再生は保証いたしません。
- カードに記録できる時間のめやす ➜ P54

動画を見る(MPEG4 動画再生)

記録した MPEG4 ファイルを再生します。

❶ [▶] にし、[MPEG4] モードに設定する（P17）

❷ 再生ファイルを選ぶ

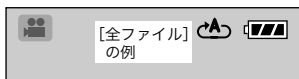
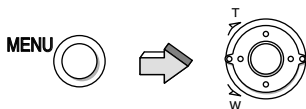
❸ ジョグボールを押す

●選んだファイルを再生します。それ以降のファイルを再生し終わるとファイル一覧に戻ります。

●再生開始から約３秒間表示されます。
●音量の調整について ➜ P27

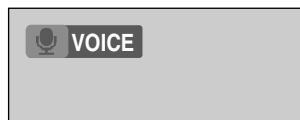
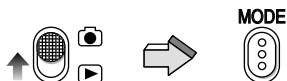
ジョグボールの操作	
停止	:押す
一時停止	:再生中に下に転がす（再生に戻るには押すまたは上に転がす）
頭出し	:右または左に１回転がす

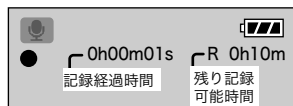
●再生中にリモコンの[▶▶|/|◀◀]ボタンを押し続けると早送り・早戻しができます。(P28)

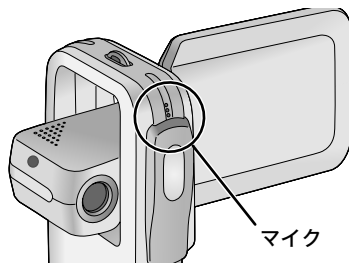
■ 繰返し再生(リピート再生)するには
停止中に[MENU]を押し、[動画リピート]を[1 ファイル]または[全ファイル]にする

●パソコン上で見るときは ➜ P42
●テレビで見るには ➜ P29
●早送り・早戻しは次のファイルになると、通常の再生に戻ります。
●ファイル一覧画面の画像は映像の最初のフレームが表示されています。(例えば、最初の画面が黒の場合、黒色表示になります)

音声を記録する（ボイス録音）

カードに音声を記録します。

❶ ［］にし、［VOICE］モードに設定する（P17）

❷ 記録 / 停止ボタンを押す

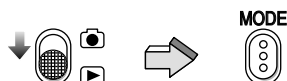
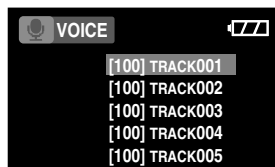
- 録音が始まります。
- **録音開始後、約5秒で液晶モニターは消灯します。（ジョグボールを押すと再点灯します）**

❸ 本機の内蔵マイクに向かって音声を入れる

- 録音中に記録 / 停止ボタンを押すと、録音を停止します。

- 録音終了後にモニターは再点灯します。
- 録音中はズームレバーなどに触れないようにお気を付けください。ノイズが記録される場合があります。
- カードに録音できる時間のめやす ➜ P54
- 音声（VOICE）ファイルはすべて自動的にロックされます。➜ P36
- 録音停止後に再度録音すると、別ファイルとして保存されます。

録音した音声を聴く（ボイス再生）

本機で録音した音声ファイルを再生します。

❶ [▶] にし、[VOICE] モードに設定する（P17）

●音声ファイルが一覧表示されます。

❷ 音声ファイルを選ぶ

❸ ジョグボールを押す

●再生が始まります。

●**再生開始後、約 5 秒で液晶モニターは消灯します。（ジョグボールを上に転がすと再点灯します）**

●再生開始から約３秒間表示されます。

●音量の調整について ➜ P27

ジョグボールの操作	
停止	:押す
一時停止	:再生中に下に転がす （再生に戻るには押すまたは上に転がす）
頭出し	:右または左に 1 回転がす

●再生中にリモコンの[▶▶I/I◀◀]ボタンを押し続けると早送り・早戻しができます。（P28）

●再生終了後にモニターは再点灯します。

●早送り（早戻し）は次のファイル（ファイルの先頭）になると、通常の再生に戻ります。

●再生中はジョグボールを上に転がすと再点灯します。（約 5 秒後に消灯します）

●音声はモノラルになります。

●ステレオインサイドホンの使いかたは ➜ P28

●外部機器につないで聴くときは ➜ P29

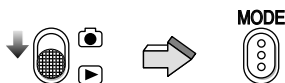
使ってみよう

音楽を聴く(MPEG2-AAC/MP3 音楽再生)

SD-Jukebox Version 4(VW-SJK10/SH-SS20)(別売)を使って記録した音楽ファイルが聴けます。

❶ 音楽ファイルの入ったカードを入れる(P13)

- SD-Jukebox Version 4(別売)で記録した MPEG2-AAC、MP3 が再生できます。

❷ [▶]にし、[AUDIO]モードに設定する(P17)

❸ 音楽ファイルを選ぶ

- 音楽を記録するときに、静止画を関連付けして記録すると、静止画も同時に再生します。

❹ ジョグボールを押す

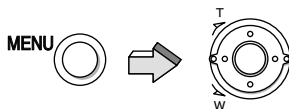
- 再生が始まります。
- **再生開始後、約 5 秒で液晶モニターは消灯します。(メニューで「パワーセーブ」を「切」にすると消灯しません)**

- 再生開始から約 3 秒間表示されます。
- 音量の調整について ➜ P27

ジョグボールの操作	
停止	:押す
一時停止	:再生中に下に転がす (再生に戻るには押すまたは上に転がす)
頭出し	:右または左に 1 回転がす

- 再生中にリモコンの[▶▶I/I◀◀]ボタンを押し続けると早送り･早戻しができます。(P28)

■ 繰返し再生(リピート再生)するには

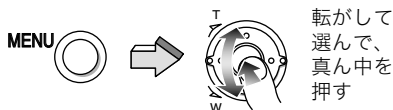
停止中に[MENU]を押し、[リピート再生]を希望の設定にする

1 曲: 選んだ曲のみ繰り返し
全曲: 全曲の繰り返し(プレイリストを選択時はプレイリストの全曲)
切: リピート再生しない

プレイリストを選ぶ

SD-Jukebox Version 4(別売)で作成したプレイリストを選んで、再生することができます。

[MENU]を押し、[プレイリスト]を選び、再生するプレイリストを選ぶ

- 画面の先頭の項目①を選ぶと、記録されている音楽ファイルがすべて再生されます。

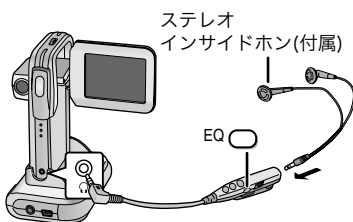
転がして選んで、真ん中を押す

表示されるタイトル名などは、SD-Jukebox の設定によって異なります。

音質を切り替える(EQ)

本機にリモコンを付けると、音質を切り換えることができます。(ステレオインサイドホン(P28) を使用しないと音声は聞こえません)

イコライザー[EQ]ボタンを押すごとに、以下のように変わります。

表示なし ➜S-XBS➜TRAIN➜ 表示なし

表示なし:	音質の変化なし
S-XBS:	迫力ある重低音
TRAIN:	電車内での音漏れを防ぐ、耳に優しい音声

S-XBS

音量を調整する

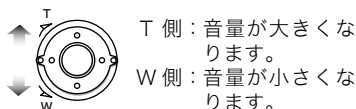
再生音量を調整します。

❶ ズームレバーを T 側またはW側に動かす

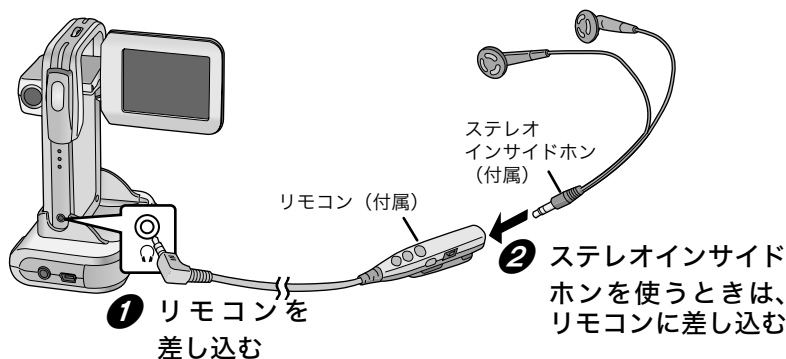
- 音量調整後、約 2 秒間何も操作しなければ、自動的に音量調整画面は消えます。

T 側：音量が大きくなります。
W 側：音量が小さくなります。

小⟵ 音量 ⟶大

VOL

- 音楽ファイルの記録、プレイリストについては、SD-Jukebox Version 4(別売)の説明書をお読みください。
- 本機は再生専用機として使えます。曲の記録・削除などはできません。
- 音楽データがない場合は、プレイリスト選択画面は表示されません。
- メニューで[パワーセーブ]を[入]にしている場合、再生後約５秒でモニターが消灯し、停止後約 30 秒で、電源が切れます。再度、電源を入れ直してください。(リモコンの[■/▶/●]ボタンを押しても、電源が入ります)

リモコン / ステレオインサイドホンを使う

リモコンを使うと、本機から離れて、記録･再生ができます。
対面モード撮影時や、音楽を聴くときに便利です。

■ リモコンのボタンについて

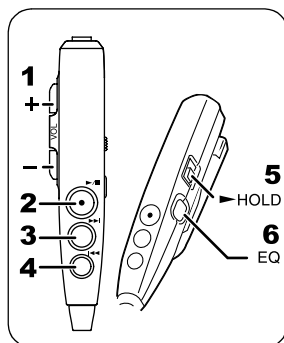
1　[ーVOL ＋]ボタン
再生音量を調整します。(ズーム操作はできません)

2　[■ /▶/ ●]ボタン
[📷]モード時は映像･音声を記録 / 停止します。
[▶]モード時は映像･音声を再生 / 停止します。

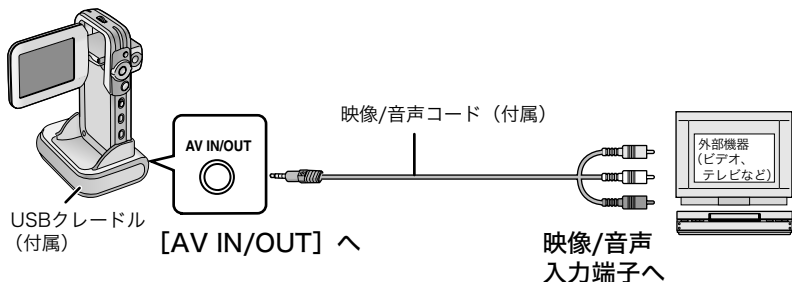
3　[▶▶|]ボタン
次のファイルを選びます。
再生中に押し続けると早送りします。

4　[|◀◀]ボタン
前のファイルを選びます。
再生中に押すとファイルの先頭に戻り、
押し続けると早戻しします。

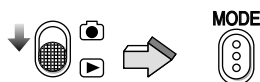
5　ホールドスイッチ[HOLD]
[► HOLD]にすると、ボタン操作を
受け付けません。
(本体側のボタンはロックされません)

6　イコライザー[EQ]ボタン(P27)
音楽(AUDIO)を聴くとき、音質を選びます。
迫力のある重低音(S-XBS)や耳に優しい TRAIN
モードに設定できます。

- ステレオインサイドホンを直接本体に付けることはできません。
- リモコンを付けると、スピーカーからは音声が出ません。
- 必ず付属のリモコンをお使いください。
- 本機の電源が切れているときにリモコンの[■/▶/●]ボタンを押すと、電源が入ります。
- イコライザー[EQ]は音楽ファイルの再生時のみ働きます。(P27)

テレビなどの外部機器で映像や音声を見る/聴く

USB クレードルを使うと、テレビやオーディオ機器などで映像や音声を楽しめます。

❶ 接続する（上記参照）

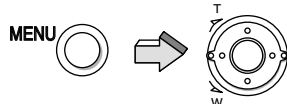
●接続時は本機の電源を切っておいてください。

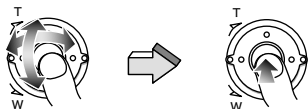
❷ （電源を入れたあと）[▶]にし、再生したいモードに設定する

❸ [MENU]を押して[セットアップ]を選ぶ

❹ [出力設定]を[ライン]にする

●設定後、[MENU]を押します。

●本機の映像などが出るように、外部機器の入力設定も確認してください。

●USB クレードルから外しているときは、自動的に「LCD」に設定されます。

❺ 再生ファイルを選び、ジョグボールを押す

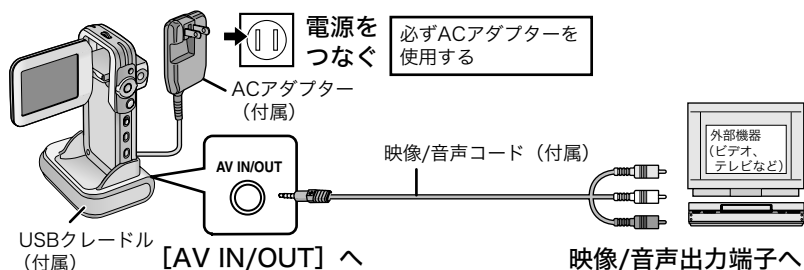
●再生が始まります。

●再生方法の詳細については各モードのページをお読みください。

●画面の表示を消すには、[表示設定]メニューの[アイコン表示]を[切]にします。

●上記の接続では、本機のスピーカー、ステレオインサイドホンは使えません。

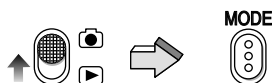
●USB クレードルを付けて、本機の液晶モニターで映像を見るには、[セットアップ]メニューの[出力設定]を[LCD]にします。（音声も本機のスピーカーから聞こえます）[ライン]にしていると液晶モニターに映像は映りません。

外部機器から映像を記録する

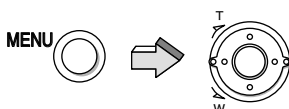
外部機器の映像を本機で記録します。

［AV IN/OUT］へ　　　映像/音声出力端子へ

❶ 接続する（上記参照）

- 接続時は本機の電源を切っておいてください。

❷ [ ]にし、[MPEG4]または[PICTURE]モードに設定する

❸ [MENU]を押して[セットアップ]を選ぶ

❹ [入力設定]を[ライン]にする

- 設定後、[MENU]を押します。
- [LINE]表示が出ます。
- USB クレードルを付けていないときは、メニューの設定に関係なくカメラの映像が液晶モニターに映ります。

❺ 画質を設定する（P20、22）

❻ 外部機器を設定する

- 本機に映像・音声が入力されているか確認してください。
- [MPEG4]モード時は、ズームレバーを W 側に動かすと、本機のスピーカーを消音できます。（音量の調整はできません。T 側に動かすと再出力できます）

❼ 記録 / 停止ボタンを押す

- 記録します。（動画の場合は、再度押すと記録が停止します）

- 著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像は記録できません。
- 外部機器からカードに記録される静止画の画像サイズは「640 × 480」です。（メガピクセルではありません）
- 外部機器からのボイス録音はできません。
- 停止状態で約5分経過すると、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。（P16）
- 記録[ ]モード時は、[セットアップ]メニューの[出力設定]（LCD・ライン）の設定に関係なく、[AV IN/OUT]端子から映像・音声は出力されません。

自動録画機能を使う

動画記録モード時のみ

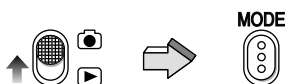
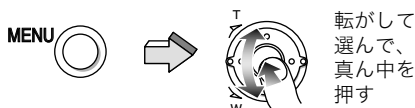
外部機器から映像入力信号を受けると、自動的に録画を開始します。

❶ 本機を USB クレードルに付けて、外部機器を接続する（P30）

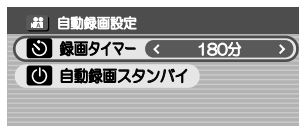
必ず AC アダプターをお使いください。
（自動録画設定を行っても、バッテリーのみでは動作しません）

❷ 外部機器のタイマー設定などを行う

❸ 外部機器の映像信号が出力されていないのを確認する

❹ [ ]にし、[MPEG 4]モードにする

❺ [MENU]を押し、[自動録画設定]を選ぶ

転がして
選んで、
真ん中を
押す

❻ 終了時間を設定するには、[録画タイマー]を選び、希望の時間を選ぶ

●録画開始から終了までの時間を設定します。
（最大 180 分まで設定できます）

❼ [自動録画スタンバイ]を選ぶ

●確認画面が表示されたら[はい]を選び、ジョグボールを押します。（スタンバイモードになり、自動的に電源が切れます）

転がして
選んで、
真ん中を
押す

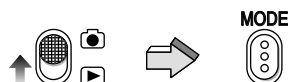
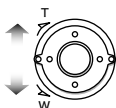
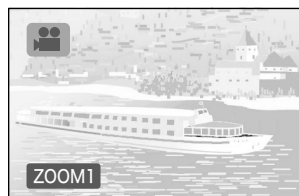
●映像入力信号を検知すると、自動的に録画が始まります。
●録画中に、記録 / 停止ボタンを押すと、記録は停止します。

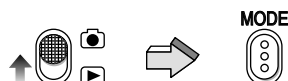
●接続するときは、外部機器の電源を切っておいてください。
●映像の最初の部分が記録されない場合があります。
●設定した時間が経過しなくても、カード容量がいっぱいになると、記録が自動的に停止します。
●自動録画は 1 回分だけ設定できます。

より楽しく

ズームで撮る

デジタルズームで最大約 2.5 倍まで拡大できます。

❶ [ ] にし、[MPEG4] または、[PICTURE] モードに設定する

❷ ズームレバーを T 側またはW側に動かす

- T 側に動かすと最大約 2.5 倍まで 3 段階に変わります。
- 電源を切る、または[ ]モードにすると、ズーム倍率は 1 倍に戻ります。

暗い場所で撮る(ナイトビュー(高感度)モード)

暗い場所でも、カラーで明るく浮かび上がらせて記録できます。

❶ [ ] にし、[MPEG4] モードに設定する

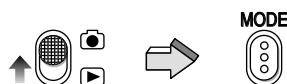
❷ [NIGHT VIEW]を押す

- [ ]が表示され、画面が明るくなります。
(もう一度押すと、解除されます)

- 次の場合は、ナイトビュー(高感度)モードは解除されます。
  - ・電源を切る
  - ・再生[ ]モードにする
  - ・モード切換ボタンを押して[VOICE]モードにする
  - ・「入力設定」を「ライン」に設定する
- [MPEG4]モードのときのみ使えます。
- 撮影した映像はコマ落ちのように見えます。
- ナイトビュー(高感度)モードは、CCDの信号蓄積時間を通常よりも長くすることにより、暗い場面もカラーで明るく映し出すことができる機能です。このため、通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。

逆光で撮る(逆光補正)

逆光で人物などが暗くなる場合に、画面を明るくします。

❶ ［ ］にし、［MPEG4］または、［PICTURE］モードに設定する

❷ ジョグボールを約 1 秒以上押す

●ショートカット設定モードになります。

❸ [逆光補正]を選ぶ

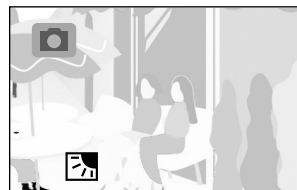
●ジョグボールを上下に転がすと、以下のように換わります。

［逆光補正］➔［ホワイトバランス］➔［逆光補正］

❹ [入]を選び、ジョグボールを押す

選んで

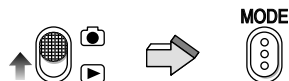
決定

●画面が明るくなります。
(「切」を選ぶと解除されます)

●次の場合は、逆光補正は解除されます。
・ 電源を切る
・ 再生[ ]モードにする
・「入力設定」を「ライン」に設定する

より楽しく

自然な色合いで撮る(ホワイトバランス設定)

通常はオートホワイト(白)バランス機能により、自動で自然な色合いに撮ることができます。しかしシーン・光源によっては、自然な色合いで撮れないことがあります。この場合に、ホワイトバランスを設定し、色合いを調整します。

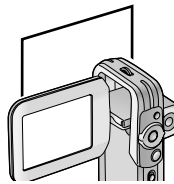
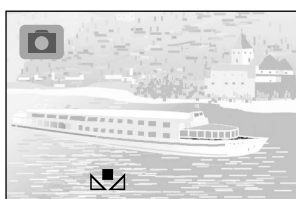
❶ [ ]にし、[MPEG4]または[PICTURE]モードに設定する

❷ ジョグボールを約1秒以上押す

- ショートカット設定モードになります。

❸ [ホワイトバランス]を選ぶ

- ジョグボールを上下に転がすと、以下のように換わります。

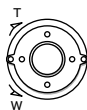
[逆光補正] ➜[ホワイトバランス] ➜[逆光補正]

❹ 画面いっぱいに白い被写体(白紙など)を映しながら、[セット]を選び、ジョグボールを押す

選んで
決定
- ホワイトバランス設定を自動にするには、手順2～4で[オート]を選ぶ。

- 次の場合は、ホワイトバランス設定は自動になります。
  - ・電源を切る
  - ・再生[ ]モードにする
  - ・「入力設定」を「ライン」に設定する
- 光が弱いときなど、ホワイトバランス設定ができない場合があります。([ ]が点滅します)
- ホワイトバランス設定を行うと効果的なシーンについて ➜ P56

不要なファイルを削除する

不要になった静止画や音声、動画ファイルを削除します。

❶ 削除するファイルを選び、再生（再生の一時停止）する

❷ [MENU]を押す

●ショートカット編集モードになります。

❸ [ファイル削除]を選ぶ

●ジョグボールを転がすと、以下のように変わります。

[MPEG4]・[VOICE]再生時
[ファイル削除] ➜[ロック設定] ➜[ファイル削除]
[PICTURE]再生時
[ファイル削除] ➜[ロック設定] ➜[DPOF プリント] ➜[ファイル削除]

ファイル削除　いいえ

❹ [はい]を選び、ジョグボールを押す

●削除後、ファイル一覧に戻ります。

選んで

設定

■ 選んだ動作モードのファイルをすべて削除するには

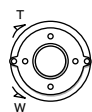
1. [▶]にし、動作モードを選んで、[MENU]を押す
2. [カード操作]を選び、ジョグボールを押す
3. [ファイル削除]を選び、ジョグボールを押す
4. 確認画面が出たら、[はい]を選び、ジョグボールを押す

● **一度消したファイルは元に戻りません。よく確認してから削除してください。**
●ロックされたファイルは削除できません。ロックを解除してから削除してください。
●音楽（MPEG2-AAC、MP3）ファイル（P26）は本機で削除できません。

より楽しく

カードのファイルを保護する(ロック設定)

カードに記録したファイルを誤って削除しないように保護(ロック)します。

❶ ロック設定するファイルを再生(再生の一時停止)する

❷ [MENU]を押す

- ショートカット編集モードになります。

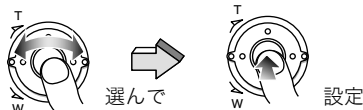
❸ [ロック設定]を選ぶ

- ジョグボールを転がすと、以下のように換わります。

[MPEG4]・[VOICE]再生時
[ファイル削除] ➜[ロック設定] ➜[ファイル削除]
[PICTURE]再生時
[ファイル削除] ➜[ロック設定] ➜[DPOF プリント] ➜[ファイル削除]

❹ [保護]を選び、ジョグボールを押す

選んで

設定

- ファイルロック後に、ファイル一覧に戻ります。

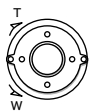
■ 選んだ動作モードのファイルをすべてロックするには

1. [▶]にし、動作モードを選んで、[MENU]を押す
2. [カード操作]を選び、ジョグボールを押す
3. [ロック設定]を選び、ジョグボールを押す
4. 確認画面が出たら、[保護]を選び、ジョグボールを押す

- ロック設定(解除)するファイル数が多い場合、時間がかかります。
- [解除]を選ぶと、ロック設定が解除されます。
- 音楽(MPEG2-AAC、MP3)ファイル(P26)はロック設定および解除はできません。
- ロック設定は本機でのみ有効です。

プリント情報を書き込む（DPOF 設定）

プリントしたい静止画、枚数などの情報（DPOF データ）をカードに書き込みます。

❶ DPOF 設定する静止画ファイルを再生する（P21）

❷ [MENU]を押す

●ショートカット編集モードになります。

❸ [DPOF プリント]を選ぶ

●ジョグボールを転がすと、以下のように換わります。

[ファイル削除] ➜[ロック設定] ➜[DPOFプリント]➜[ファイル削除]

❹ 枚数を設定し、ジョグボールを押す

枚数を選んで

決定

■ DPOF 設定をすべて解除するには

1. [▶]にし、[PICTURE]モードにする
2. [MENU]を押す
3. [カード操作]を選び、ジョグボールを押す
4. [DPOF リセット]を選び、ジョグボールを押す
5. 確認画面が出たら、[はい]を選び、ジョグボールを押す

カード操作
ファイル削除
ロック設定
DPOF確認
DPOFリセット
BACK
MENU:終了

■ DPOF 設定をスライドショーで確認するには

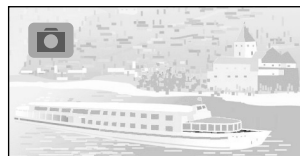
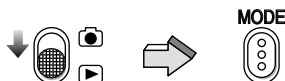
1. [▶]にし、[PICTURE]モードにする
2. [MENU]を押す
3. [カード操作]を選び、ジョグボールを押す
4. [DPOF 確認]を選び、ジョグボールを押す
   ●設定した画像が約 3 秒ずつ表示されます。

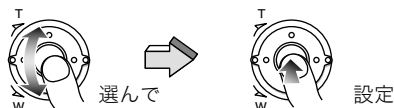
●プリント枚数は 0 ～ 99 枚まで設定できます。

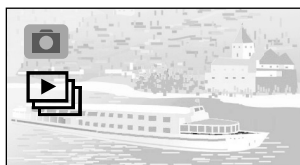
●DPOF 設定（解除）するファイル数が多いと、時間がかかる場合があります。

付属のソフトで作ったスライドショーを楽しむ（P. スライドショー）

SD-MovieStage Ver. 2.5（付属）で設定したスライドショーをもとに静止画を再生します。

❶ [▶] にし、[PICTURE] モードに設定する

❷ [MENU]を押す

❸ [P. スライドショー]を選ぶ

- SD-MovieStage Ver. 2.5で設定した画像が設定した順番で、約 3 秒ずつ再生します。
- すべての再生が終わると、停止します。

スライドショー中のジョグボールの操作	
停止	:押す
一時停止	:下に転がす （元に戻るには上に転がす）

- SD-MovieStage Ver. 2.5 で設定したスライドショーの時間は本機では適用されません。
- SD-MovieStage Ver. 2.5 について ➜ P44、49

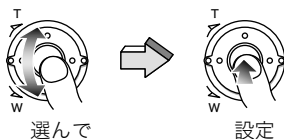
液晶モニターを調整する

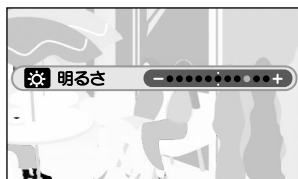
液晶モニターの明るさや色レベルを調整します。

❶ ［MENU］を押す

❷ ［表示設定］を選ぶ

選んで

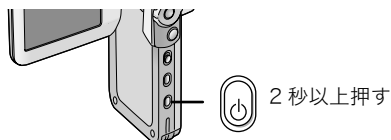
設定

❸ ［明るさ］または、［色レベル］を選ぶ

❹ 調整する

［明るさ］　：［●］が右(+)にいくほど明るくなります。
［色レベル］：［●］が右(+)にいくほど濃くなります。
- ［MENU］ボタンを押すと、設定画面が消えます。（ジョグボールを押す、または約5秒間そのままにしておくと、自動的に［表示設定］に戻ります）

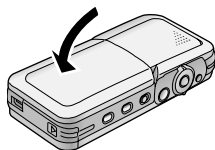
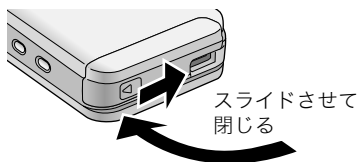
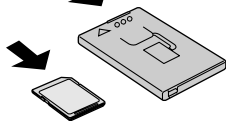
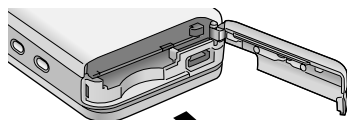
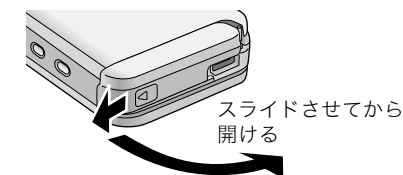
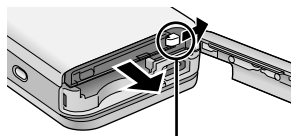
- 液晶モニターの調整内容は、実際に録画される映像には影響しません。

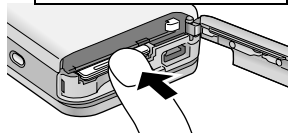
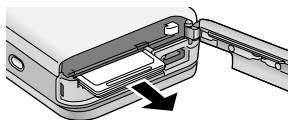
より楽しく

使い終わったら

❶ 電源を切る

❷ 液晶モニターを閉じる(P14)

(P14)

●ストラップを固定しているときは、閉じる前に外してください。

❸ バッテリー、カードを取り出す(P12、13)

バッテリーを取り出すとき

バッテリーロックつまみを解除し、
バッテリー挿入口を下にして取り出す

カードを取り出すとき

カードをカチッと音がするまで
押してから、

まっすぐ引き抜く

●長時間使用しないときは、バッテリーを外してください。

カードをフォーマットする

フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータ(ファイル)は削除され、元に戻すことができません。よく確認してからフォーマットしてください。

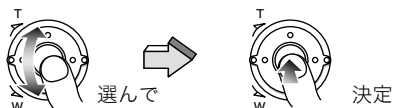
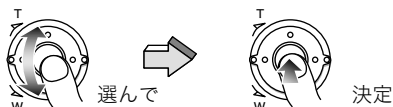
❶ [📷] にする

❷ [MENU]を押す

❸ [セットアップ]を選ぶ

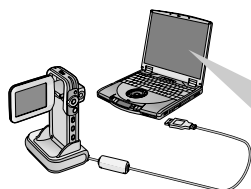
選んで
決定

❹ [フォーマット]を選ぶ

選んで
決定

- 確認画面が表示されたら、[はい]を選び、ジョグボールを押します。

- **通常はカードをフォーマットする必要はありません。**
- 同じカードを使用していて、何度も「カードを確認してください」とメッセージが出た場合、本機でそのカードを使うにはフォーマットする必要があります。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが [LOCK]側のときはフォーマットできません。
- ロックしたファイルや音楽ファイルも削除されます。
- 記録･再生に失敗するなど、カードが不安定になってきた場合は、一度フォーマットしてみてください。

パソコンで使う

●USB ドライバー(付属)をインストールすると、本機とパソコンを接続して使えます。
●[エクストラファイン]で記録した MPEG4 動画をパソコンで再生するには、SD-MovieStage Ver. 2.5 (付属)をインストールする必要があります。
●SD-MovieStage Ver. 2.5 (付属)を使うと、映像や音声を簡単に楽しめます。
●SD-Jukebox Version 4(VW-SJK10/SH-SS20)(別売)を使うと、オーディオ CD などの音楽をカードに記録することができます。(本機の[AUDIO]モードで再生できます)

SD-MovieStage
・SDカードの内容が一目でわかる
・ファイルの整理が簡単にできる
・パソコンのデータをSDカードに書き出せる
・MPEG4カット編集機能

USB ドライバー/SD-MovieStage 動作環境

以下の環境でご使用いただけます。

対応パソコン	Microsoft Windows XP Home Edition/ Windows XP Professional/Windows 2000 Professional/ Windows Me/Windows 98SE 日本語版が プリインストールされた IBM PC/AT 互換機
CPU	Intel Celeron 466 MHz 以上
メモリ	Windows XP/2000 の場合　256 MB 以上 Windows Me/98SE の場合　128 MB 以上
ディスプレイ	High Color (16bit)以上/デスクトップ領域800×600以上
ハードディスク	350 MB 以上の空き容量(SD-MovieStage Ver. 2.5)
必要なソフトウェア	●Internet Explorer 5.5 以降 ●Windows Media Player 6.4 以降 ●DirectX 9.0b 以降
サウンド	Windows 互換サウンドデバイス
ドライブ	CD-ROM ドライブ(インストールに必要)
インターフェース	USB 端子
その他	マウスまたはマウスと同等のポインティングデバイス

●推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
●NEC PC-98 シリーズとその互換機では動作保証しません。
●Windows 3.1/95/NT および Macintosh には対応していません。
●USB ハブを経由する場合や USB カードをご使用の場合は、動作保証の対象外とさせていただきます。
●Windows XP/2000をお使いの場合は、ユーザー名を[Administrator (コンピュータの管理者)] (もしくはこれと同等の権限を持つユーザー名)にしてログオンしてからインストールしてください。
●インストール前に P4 のソフトウェア使用許諾書をよくお読みください。

USB ドライバーのインストール

- **USB 接続ケーブルをつなぐ前に、必ず USB ドライバーをインストールしてください。**
- インストール前に他のアプリケーションを終了させてください。

❶ CD-ROM（付属）をパソコンに入れる

- インストール画面が自動で表示されない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

❷ [USB ドライバーのインストール]をクリックする

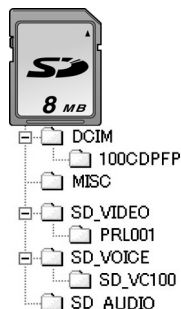
❸ [完了]をクリックする

- 再起動後、ドライバーが有効になります。（必ず再起動してください）

カード内のデータについて

カード内のフォルダーには以下のファイルが入っています。
ファイル名やフォルダー名を変更すると、本機で使えなくなる場合があります。
ファイル操作には SD-MovieStage（付属）をお使いください。

[DCIM]　:JPEG 形式（IMGA0001.JPG など）で記録された静止画（本機では 100-0001 などと表示されます）
[MISC]　:静止画に設定された DPOF データ
SD-MovieStage で作成したスライドショーデータ（AUTPLAY0.MRK など）
[SD_VIDEO]　:MPEG4（ASF）形式（MOL001.ASF など）で記録された動画
[SD_VOICE]　:音声データ（MOB001.VM1 など）
[SD_AUDIO]　:SD-Jukebox Version 4（別売）などで記録された音楽データ（AOB001.SA1 など）

パソコンで

SD-MovieStage のインストール

インストール前に他のアプリケーションを終了させてください。

●DirectX9.0b をインストールすることにより、旧バージョンの DirectX に対応したアプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

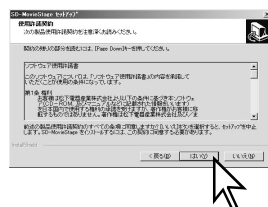
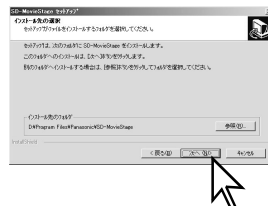
❶ CD-ROM（付属）をパソコンに入れる

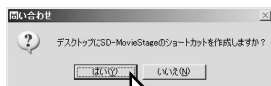
●インストール画面が自動で表示されます。
表示されない場合は、CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

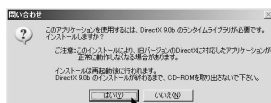
❷ [SD-MovieStage Ver. 2.5 のインストール]をクリックする

❸ [次へ]をクリックする

❹ よく読んで、内容に同意される場合は、[はい]をクリックする

●[いいえ]をクリックすると、SD-MovieStage Ver. 2.5 はインストールされません。

❺ [次へ]をクリックする

❻ [はい]をクリックする

●[いいえ]をクリックすると、デスクトップにショートカットアイコンは表示されません。

❼ [はい]をクリックする

●DirectX 9.0b がインストールされます。
DirectX 9.0b がすでにインストールされているときは、この画面は表示されません。

❽ [完了]をクリックする

●パソコンを再起動します。

●DirectX 9.0b がすでにインストールされているときは、**これでインストールは完了です。**
（手順 ❾〜 ⓫の画面は表示されません）
再起動後に SD-MovieStage Ver. 2.5 が使用できます。

❾ パソコンを再起動後、Microsoft DirectX のセットアップ画面が表示されたら、内容をよく読み、[同意する]にチェックを付けたあと、[次へ]をクリックする

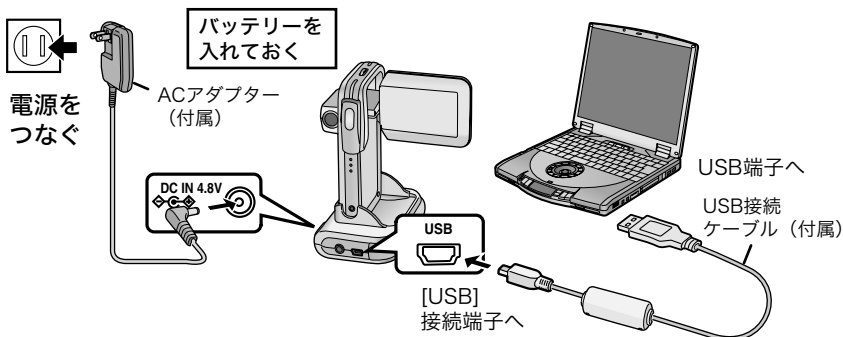
●[キャンセル]をクリックすると、
SD-MovieStage Ver. 2.5 はご使用になれません。

❿ [次へ] をクリックする

⓫ [完了] をクリックして、パソコンを再起動する

●**これでインストールは完了です。**
再起動後に SD-MovieStage Ver. 2.5 が使用できます。

パソコンと接続する

●USB ドライバーをインストールしてから、USB 接続ケーブルを接続してください。
●AC アダプターとバッテリーの両方をお使いください。どちらか一方だけでは、パソコンに接続して使うことはできません。

❶ ［▶］にして、上記のように接続する

●［マイコンピュータ］に［リムーバブルディスク］アイコンが表示されます。
●本機はパソコン専用モードになります。（本機からの操作はできなくなります）

●本機側から操作するときは、USB 接続ケーブルを抜いてください。
●USB クレードルなしで使用することはできません。
●本機とパソコンを接続中に、パソコンでカード内の MPEG4 動画ファイルを再生すると、映像がコマ落ちすることがあります。この場合、再生したいファイルをパソコンにコピーして、そのファイルを再生してください。

パソコン接続時のお願い（Windows 98SE 使用時）

USBドライバーをインストールし、最初に本機をパソコンと接続したときに、[新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示される場合があります。
以下の方法で操作を完了すると、パソコン側で本機を認識できます。

1 [次へ] をクリックする

2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]が選ばれていることを確認し、[次へ]をクリックする

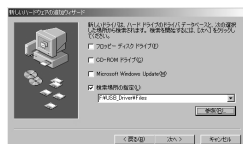
3 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROM ドライブに入れる

●インストール画面が表示された場合は、[終了]をクリックします。

4 [検索場所の指定]のみを選び、[参照]をクリックする

5 CD-ROM アイコンをダブルクリックし、[USB Driver]をダブルクリックし、[files]をクリックして[OK]をクリックする

●手順 4 で[参照]をクリックせず「E:¥USB Driver¥files」(CD-ROMドライブが E のとき)と入力して指定することもできます。

6 [次へ]をクリックする

7 [次へ]をクリックする

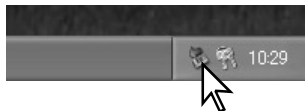
8 [完了]をクリックする

パソコンで

USB 接続ケーブルを安全に外すには

Windows XP/2000をお使いの場合は、以下の方法でUSB接続ケーブルを外します。
Windows Me/98SE をお使いの場合は、電源 / カードアクセスランプが点滅していないのを確認して、そのまま抜いてください。(本機の電源は入れたままにしてください)

❶ タスクトレイの アイコンをダブルクリックする

●ハードウェア取り外し画面が表示されます。

❷ [USB 大容量記憶装置デバイス]を選択し、[停止]をクリックする

❸ [OK]をクリックする

●[OK]をクリックすると、安全に USB 接続ケーブルを外すことができます。

SD-MovieStage を起動する

❶ ［スタート］→
［すべてのプログラム（プログラム)］→
［Panasonic］→
［SD-MovieStage］→
［SD-MovieStage］を選ぶ

●SD-MovieStage Ver. 2.5 の使用方法などについては本説明書には記載しておりません。同時にインストールされる PDF 説明書をお読みください。

SD-MovieStage をアンインストールする

他のアプリケーションを終了させてから、アンインストールしてください。

❶ ［スタート］（→［設定］）→［コントロールパネル］をクリックする

❷ ［プログラム（アプリケーション）の追加と削除］をダブルクリックする

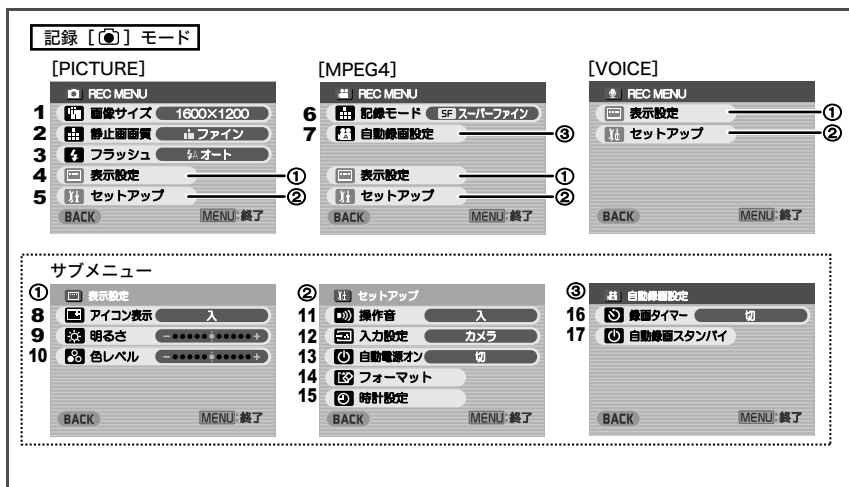
❸ ［SD-MovieStage］を選ぶ

❹ ［変更と削除］（［変更 / 削除］または［追加と削除］）をクリックする

❺ 削除の確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックする

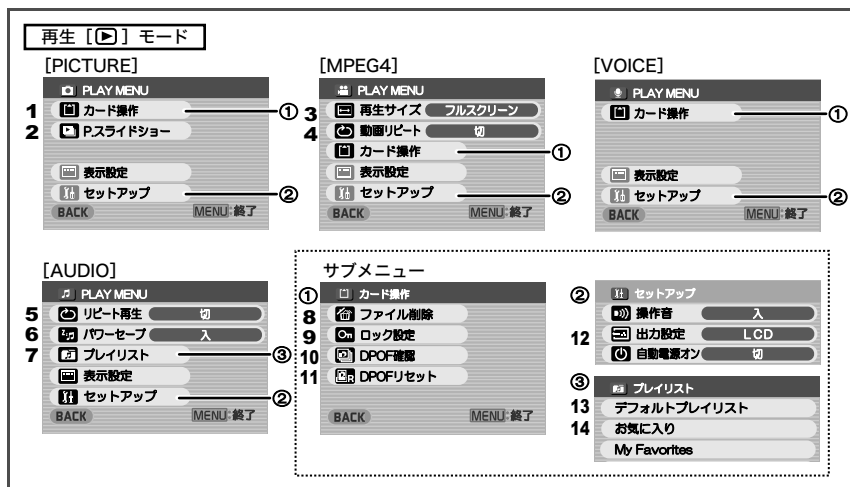
●PDF 説明書を読むには Adobe Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。
（インストール画面で、［Acrobat Reader のインストール］をクリックしてください）

メニュー画面の表示

内容については関係するページをお読みください。

記録[◉]モード

1 画像サイズ(P20)
2 静止画画質(P20)
3 フラッシュ(P20)
4 表示設定
5 セットアップ
6 記録モード(P22)
7 自動録画設定(P31)

[サブメニュー]

8 アイコン表示
画面のアイコン表示を切 / 入します。
9 明るさ(P39)
10 色レベル(P39)
11 操作音
[切]にすると、鳴らなくなります。
12 入力設定(P30)
13 自動電源オン(P16)
14 フォーマット(P41)
15 時計設定(P19)
16 録画タイマー(P31)
17 自動録画スタンバイ(P31)

再生[▶]モード

1 カード操作

2 P. スライドショー(P38)

付属のSD-MovieStage Ver.2.5で作ったスライドショーデータをもとにスライドショーを行います。

3 再生サイズ

MPEG4 動画再生時の画面サイズを設定します。

[ノーマル]にすると、通常画面になります。[フルスクリーン]にすると、画面全体に拡大されます。テレビに表示するときは、[ノーマル]にすることをおすすめします。

4 動画リピート(P23)

5 リピート再生(P26)

6 パワーセーブ(P27)

7 プレイリスト(P27)

カードにプレイリストが記録されている場合、再生するプレイリストを選びます。プレイリストは本機で設定できません。SD-Jukebox Version 4 (VW-SJK10/SH-SS20) (別売) をお使いください。

[サブメニュー]

8 ファイル削除(P35)

9 ロック設定(P36)

10 DPOF 確認(P37)

11 DPOF リセット(P37)

12 出力設定(P29)

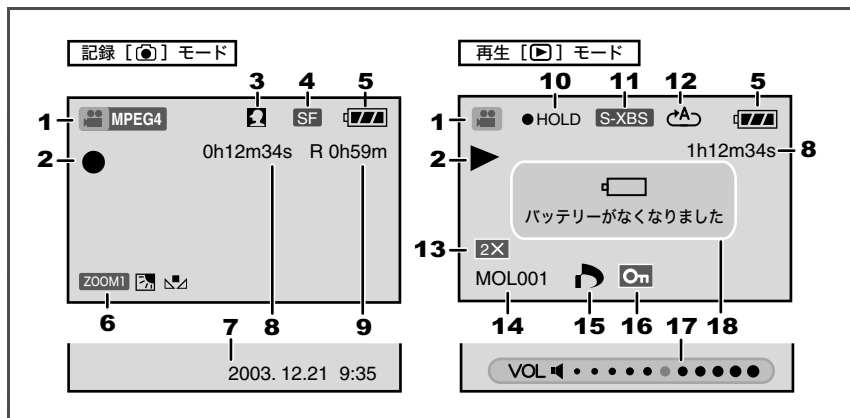
13 デフォルトプレイリスト(P27)

カード内の全曲が再生されます。ここの表示は、SD-Jukebox での設定により変わります。

14 プレイリスト(P27)

SD-Jukebox で設定したプレイリスト名が表示されます。ここの表示は、SD-Jukebox での設定により変わります。

その他の項目は記録[📷]モードと同じです。

液晶モニターの表示

1 動作モード表示

モードを切り換えてから(電源を入れてから)数秒経過すると、アイコン表示のみになります。

PICTURE :静止画[PICTURE]モード

MPEG4 :動画[MPEG4]モード

VOICE :音声[VOICE]モード

AUDIO :音楽[AUDIO]モード

2 状態表示

[記録系]

● :記録中

REVIEW :記録画像確認中

[再生系]

▶ :再生

❚❚ :一時停止

◀◀ / ▶▶ :早戻し / 早送り再生

(× 10◀◀ / ▶▶ で 10 倍速、×60◀◀ / ▶▶ で60倍速になります)

:スライドショー(P21、38)

:スライドショーの一時停止

ACCESS: カードアクセス中

NO CARD :カードなし

NO FILE :ファイルなし

3 フラッシュ表示(P20)

A :オート

:入

ナイトビュー(高感度)モード表示(P32)

:ナイトビュー(高感度)モード

4 画質(サイズ)表示

静止画[PICTURE](P20)

1600 :ファイン(1600 × 1200)

1600 :ノーマル(1600 × 1200)

1280 :ファイン(1280 × 960)

1280 :ノーマル(1280 × 960)

640 :ファイン(640 × 480)

640 :ノーマル(640 × 480)

MPEG4 動画[MPEG4](P22)

XF :エクストラファイン

SF :スーパーファイン

F :ファイン

N :ノーマル

E :エコノミー

5 バッテリー残量表示

バッテリーの残量が少なくなるにつれ → → (点滅) → (点滅)と変わります。バッテリーの残量表示が「 」のときは、

数分でバッテリーがなくなりますので充電してください。
(AC アダプター使用時に [バッテリー表示] が表示される場合がありますが、問題ありません)

6 カメラ機能表示

ZOOM1 :ズームモード(P32)
:逆光補正モード (P33)
:白バランス設定 (P34)

外部入力表示(P30)

LINE :外部入力中
:スピーカー消音中

7 年月日、時刻表示(P19)

時刻は 24 時間表示です。
(記録・再生モードとも)

8 経過時間表示

0h00m10s
記録モード時 :記録経過時間
再生モード時 :再生経過時間

9 記録可能時間・可能枚数表示

R 10
静止画の記録可能残り枚数(残り0枚で赤色点灯となります)
R 0h10m
MPEG4 動画撮影、音声(VOICE)記録可能残り時間(残り 0h00m で赤色点灯となります)

10 ジョグボール誤動作防止表示

● HOLD :誤動作防止中

11 音質表示 (音楽ファイル)(P27)

リモコンの[EQ]ボタンで設定する音質を表示します。

S-XBS :S-XBS モード
TRAIN :TRAIN モード

12 リピート再生

:全ファイル(全曲)リピート
:1 ファイル(1 曲)リピート

13 再生ズーム表示

再生ズーム中に表示します。

14 ファイル名表示

再生ファイルの名前を表示します。

15 DPOF 設定表示 (P37)

DPOF 設定済み(1 枚以上に設定)

16 ロック設定表示 (P36)

ファイルをロックしているとき。

17 音量表示 (P27)

音量を調整するときに表示します。

18 警告表示

(記録・再生モードとも)

「バッテリーがなくなりました」
バッテリー容量がなくなりましたので充電してください。(P11)
または十分に充電したバッテリーと交換してください。

「カードを入れてください」
カードが入っていません。またはカードが途中までしか入っていない可能性があります。

「カード残量がありません」
カードの容量がありません。不要なファイルを削除するか、新しいカードを入れてください。

「カードがロックされています」
SD メモリーカードの書き込みスイッチが「LOCK」側になっています。(P74)

「カードを確認してください」
カードを入れ直してみてください。それでも表示が消えない場合は、フォーマットしてください。(P41)

「ファイルがロックされています」
ロック設定されているデータに削除操作をしています。

「電源を入れ直してください」
電源を入れ直してください。

「コピーガードがあり 録画できません」
著作権保護の信号(コピーガード)が入っている映像を記録しようとしています。このデータは記録できません。

「AC アダプターとバッテリー両方を接続してください」
USB接続ケーブルでパソコンと接続するときは、バッテリーとACアダプターの両方を取り付けてください。

「再生モードに設定してください」
USB接続ケーブルでパソコンと接続するときは、再生[▶]モードにしてから接続してください。

「!」
対面撮影時に警告表示が出ています。

お願い・ヒント

■ バッテリーを入れる / 充電する(P11)

●付属バッテリー1 本当たりの充電時間のめやすは以下のとおりです。(フラッシュなど使用状況・周囲の温度により記録時間 / 枚数 / 充電時間は変わります)

付属バッテリー 1 本あたり(温度 25℃ / 湿度 60%時)

充電時間	連続 記録枚数 (PICTURE)	連続 記録時間 (MPEG4)	連続 再生時間 (MPEG4)	連続 再生時間 (AUDIO)
約 100 分	約 120 枚	約 60 分	約 75 分	約 120 分

([PICTURE]は画像サイズを[1600 × 1200]、静止画画質を[ノーマル]に設定して 30 秒間隔で 1 枚、フラッシュを 2 回に 1 回使用して記録したときの枚数です。
[AUDIO] はパワーセーブが [入] のときの時間です)

●長期間使用しないときは、バッテリーを取り出しておいてください。(P72)
●充電・使用中は本体などが暖かくなりますが、故障ではありません。
●バッテリーを取り出すときは、落下させないようにお気を付けください。
●本機の電源が入っているときに、バッテリーの取り出しやACアダプターの抜き差しをしないでください。
●充電中は AC アダプターを抜かないでください。AC アダプターを抜くと、電源ランプが数回点滅して消灯します。その場合、1 分ほどおいてから、再度接続して充電してください。

■ カードを入れる(出す)(P13)

●お使いのカードによっては、カードを取り出すときにとび出す場合がありますので、お気を付けください。
●カード裏の接続端子部には触れないでください。
●電源/カードアクセスランプが点滅中(カードにアクセス中)は、下記の操作を行うと、カードやカードの内容が破壊されたり、本体が正常に動作しなくなることがあります。
・ カードを抜き差しする
・ バッテリーや AC アダプターを外す
・ 振動や衝撃を与える
●静電気や本機・カードの故障などにより、カードやデータが壊れることがあります。大切なデータはパソコンにも保存することをおすすめします。
●カード 1 枚あたりの記録時間・枚数のめやすは以下のとおりです。(記録時間・枚数はシーンによって異なります)

カード 1 枚あたりの記録時間・枚数のめやす

PICTURE

カードの容量	1600 × 1200		1280 × 960		640 × 480	
	ファイン	ノーマル	ファイン	ノーマル	ファイン	ノーマル
8MB	約 4 枚	約 8 枚	約 8 枚	約 15 枚	約 30 枚	約 60 枚
16MB	約 10 枚	約 20 枚	約 20 枚	約 30 枚	約 70 枚	約 130 枚
32MB	約 30 枚	約 50 枚	約 50 枚	約 80 枚	約 160 枚	約 290 枚
64MB	約 60 枚	約 100 枚	約 100 枚	約 160 枚	約 330 枚	約 600 枚
128MB	約 130 枚	約 220 枚	約 210 枚	約 340 枚	約 680 枚	約 1220 枚
256MB	約 280 枚	約 450 枚	約 440 枚	約 700 枚	約 1370 枚	約 2470 枚
512MB	約 570 枚	約 920 枚	約 900 枚	約 1420 枚	約 2770 枚	約 5000 枚

MPEG4

カードの容量	XF (エクストラファイン)	SF (スーパーファイン)	F (ファイン)	N (ノーマル)	E (エコノミー)
16MB	約 1 分	約 2 分	約 5 分	約 8 分	約 18 分
32MB	約 2 分	約 4 分	約 10 分	約 17 分	約 37 分
64MB	約 5 分	約 8 分	約 21 分	約 35 分	約 1 時間 15 分
128MB	約 11 分	約 17 分	約 46 分	約 1 時間 10 分	約 2 時間 30 分
256MB	約 23 分	約 35 分	約 1 時間 33 分	約 2 時間 20 分	約 5 時間 00 分
512MB	約 46 分	約 1 時間 10 分	約 3 時間 06 分	約 4 時間 40 分	約 10 時間 10 分

VOICE

カードの容量	録音時間
8MB	約 25 分
16MB	約 58 分
32MB	約 2 時間
64MB	約 4 時間
128MB	約 8 時間 30 分
256MB	約 17 時間 30 分
512MB	約 35 時間

■ メニュー画面を操作する（P18）

- 記録中は、メニュー画面は表示されません。
- 動画 / 静止画 / 音声再生時に[MENU]ボタンを押すと、DPOF 設定、ロック設定など、再生しているファイルの編集ができます。（ショートカットメニュー）

■ 静止画を撮る（P20）

- 記録する静止画の画像サイズが大きくなると、カードへの取り込み時間は長くなります。
- 被写体から約50 cm以上離して記録してください。
- [ノーマル]に設定して記録すると、被写体によってはモザイク状の画面になります。
- 残り記録可能枚数が10000枚以上であっても、「9999」と表示されます。
- フラッシュ使用直後は、⚡が点滅し、画像を記録できない場合があります。点灯するまで、お待ちください。
- ズームにすると画質が劣化します。

■ 静止画を見る（P21）

- 本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できる静止画は JPEG 形式のファイルです。（再生できない場合もあります）
- ファイル一覧画面で、ファイル数が7つ以上の場合、ジョグボールを転がしていくと、前の（次の）ページが表示されます。

■ 動画を撮る（MPEG4 動画記録）（P22）

- [エコノミー]以外で記録したMPEG 4動画は当社製デジタルビデオカメラ NV-MX1000/NV-MX2500/NV-EX21（別売）では再生できません。このときは「RESET ボタンをおしてください」などの表示が出ることがありますが、故障ではありません。
- [エクストラファイン]で記録したMPEG4動画は、当社製DVDビデオレコーダー（DMR-E100H/DMR-E200H）では認識できません。
- ズームにすると画質が劣化します。
- 被写体から約50 cm以上離して記録してください。
- 記録される音声はモノラルになります。

■ 動画を見る（MPEG4 動画再生）（P23）

- 画面の大きさを変えるには、メニューの[再生サイズ]を[ノーマル]または[フルスクリーン]にします。[ノーマル]にすると、通常画面になり、[フルスクリーン]にすると、画面全体に拡大されます。
- [フルスクリーン]にすると、再生するファイルによってはモザイク状の画面になります。
- 本機で再生できる動画は ASF 形式のファイルです。（再生できない場合もあります）
- ファイル一覧画面で、ファイル数が7つ以上の場合、ジョグボールを転がしていくと、前の（次の）ページが表示されます。
- MPEG4 動画を再生すると、被写体の動きが速い場合などでは、モザイクが出たり、コマ落ちしますが、異常ではありません。
- 他機および他社のソフトウェアで記録されたファイルは本機で再生できない場合があります。また、本機で記録されたファイルは他機で再生できなかったり、画像サイズが正確に表示されないことがあります。
- MPEG4の動画ファイル名は16進数の連番で付けられます。

■ 音声を記録する（ボイス録音）（P24）

- 画面は黒になります。
- 記録される音声はモノラルになります。
- 最大連続記録時間は 24 時間です。
- 当社製 IC レコーダーではボイスファイルを再生できません。

■ 録音した音声を聴く（ボイス再生）（P25）

- 画面は黒になります。
- 早送り・早戻しは、開始から約 7 秒間は、10 倍速、7 秒以上は 60 倍速になります。

お願い・ヒント（つづき）

■ 音楽を聴く（MPEG2-AAC/MP3 音楽再生）（P26）

●早送り（早戻し）中の音声は聞こえません。
●本機単独では曲の記録・削除などはできません。
●フォーマットすると、音楽ファイルを含むカード内の全データ（ファイル）が削除されます。
●タイトル・アーティスト名が表示されない場合があります。
●WMA 形式の音楽ファイルは、本機では再生できません。
●SD-Jukebox　で関連付けされた静止画のサイズ（容量）が大きいと、表示に時間がかかる場合があります。
●SD-Jukebox で関連付けされた静止画が複数ある場合、最初の静止画のみ表示されます。
●静止画の種類によっては、SD-Jukebox で関連付けされても、本機で再生できない場合があります。
●MPEG2-AAC、MP3 形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

■ 音量を調整する（P27）

●記録時の音声を確認する場合、本機の音量の調整はできません。
●ステレオインサイドホンの L/R は左 / 右です。

■ テレビなどの外部機器で映像や音声を見る / 聴く（P29）

●テレビなどの外部機器に接続して映像・音声を出力しているときは、メニューの[操作音]を[入]にしていても、音は出ません。
●テレビなどの種類によっては、画面表示の文字が一部表示されない場合があります。

■ 外部機器から映像を記録する（P30）

●ワイド画像（16:9）は正しく記録できません。
●音声はステレオの L（左）・R（右）がミックスされ、モノラルで記録されます。
●記録中に映像 / 音声コードを抜き差ししないでください。正常に記録できないことがあります。
●主音声と副音声が入った映像（2 カ国語の映像など）は、記録前に音声を選択してください。記録後に主音声と副音声のどちらかを再生することはできません。（ミックスして記録されます）
●テレビ放送の電波が弱い場合や、画面にノイズが入っている場合に、その映像を記録すると、映像が乱れたり再生できないことがあります。

■ 自動録画機能を使う（P31）

●自動録画時以外では録画タイマーは働きません。
●外部機器のタイマー設定などは、1 分ほど余裕をもった設定にしてください。
●記録中に映像 / 音声コードを抜き差ししないでください。正常に記録できないことがあります。

■ 逆光で撮る（逆光補正）（P33）

●暗い場面では補正できない場合があります。

■ 自然な色合いで撮る（ホワイトバランス設定）（P34）

●暗いところでは設定できない場合があります。
●以下のようなシーンでホワイトバランス設定を行うと効果的です。
　・ 赤っぽい光源（ハロゲンランプ・ナトリウムランプなど）での撮影
　・ 複数の光源での撮影
　・ 単調な色彩のシーンの撮影

■ 不要なファイルを削除する（P35）

●ボイス録音（P24）のファイルは自動的にロックされています。ロック解除してから削除してください。
●ボイス録音のデータは任意の録音データ削除後も常に連番になります。例えば、

[100]TRACK003 を消した場合、
[100]TRACK004 が[100]TRACK003 に変わり、以降のファイルのデータ名も一つずつ詰まります。

- ボイス録音のファイルは本機または SD-MovieStage で削除してください。
- ファイル削除中は電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。カードが破壊される恐れがあります。
- 本機でファイルを削除すると、他機で設定した DPOF 情報が消去される場合があります。
- 一度削除したファイルは元に戻りません。
- SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが[LOCK] 側のときは削除できません。(P74)
- 本機で再生できない静止画ファイル(JPEG以外)でも削除される場合があります。

■ プリント情報を書き込む (DPOF 設定)(P37)

- DPOF とは、Digital(デジタル) Print(プリント) Order(オーダー) Format(フォーマット) の略です。カードの画像にプリント情報などを付加します。DPOF 情報は、DPOF 対応機器で使用できます。
- 他機で DPOF 設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で設定してください。
- DPOF 設定を行う(解除する)ファイル数が多い場合、時間がかかります。

■ 付属のソフトで作ったスライドショーを楽しむ(P. スライドショー)(P38)

- 他機で記録した静止画など、ファイルによってはスライドショーの再生時間が長くなります。
- P. スライドショーのデータがカードに記録されていないときは、ファイル一覧画面に戻ります。

■ カードをフォーマットする(P41)

- フォーマット中は電源を切ったりカードを抜いたりしないでください。カードが破壊される恐れがあります。
- フォーマットは本機または SD-Jukebox Version 4(VW-SJK10/SH-SS20)(別売)で行ってください。
- パソコンでフォーマットしないでください。本機で認識しなくなる場合があります。
- 本機以外でフォーマットされたカードは使えない場合があります。また、本機でフォーマットしたカードは、他の機器で使えない場合があります。 使用する機器側でフォーマットしてください。

■ カード内のデータについて(P43)

- カードをフォーマットするときは、本機または、SD-Jukebox Version 4(VW-SJK10/SH-SS20)(別売)でフォーマットしてください。
- パソコン上で動画を再生すると、上下に黒い帯が出ることがありますが、異常ではありません。
- [SD_VOICE]フォルダーやフォルダー内のボイス音声ファイル、[SD_AUDIO]フォルダーは隠しファイルに設定されています。パソコンの設定によっては、これらのフォルダーやファイルはエクスプローラやマイコンピュータの画面に表示されません。
- MPEG4 動画のファイル名は 16 進数の連番で付けられます。(例 00A=10 です)
- パソコン上で本機未対応のデータを記録した場合、本機では認識できません。
- [DCIM]、[SD_VIDEO]、[SD_VOICE]などはフォルダーの構成上必要ですので削除しないでください。
- MPEG4 動画(ASF 形式)ファイルは、Windows Media Player 6.4 以降で再生できます。
  [エクストラファイン]で記録したファイルの再生には MPEG4 Decoder Plug-in をインストールする必要があります。また、音声が出ない場合には専用のソフトウェア(G.726)をダウンロードする必要があります。(どちらも付属のCD-ROMから SD-MovieStage をインストールすると、同時にインストールされます)

お願い・ヒント(つづき)

●本機で記録した約 3 分以上の MPEG4 動画(ASF 形式)ファイルを Windows Media Player で再生すると、途中で停止する場合があります。また、同ファイルを SD-MovieStage で使用すると、再生、カット編集、コンバートに失敗する場合があります。この場合は、インストール画面の[Windows Media アップデート]をクリックするか CD- ROM 内の[WMP9QFE] フォルダーの[WMP9QFEInst.exe] を実行し、メッセージに従ってアップデートを行ってください。(このアップデートは、同ファイルを Windows Media Player で再生し、約３～４分後に再生が停止する場合に有効です)

●SD-MovieStage をインストールせずに[エクストラファイン]で記録したファイルを再生するには、付属の CD-ROM から MPEG4 Decoder Plug-in をインストールしてください。

●カード内のフォルダーをパソコン上で削除しないでください。本機でカードが読み込めなくなる場合があります。

■ パソコンと接続する(P46)

●付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。

●パソコンとの接続中に AC アダプターを抜かないでください。

●パソコンの電源を切っても、本機のパソコン専用モード(「USB 接続中です」と表示されます)が解除されない場合は、USB 接続ケーブルを外してください。

●本機とパソコンを接続中に、パソコンがサスペンド状態になると、サスペンドから復帰したときに、パソコン側で本機を認識しなくなることがあります。このときはパソコンを再起動してください。

●本機とパソコンを接続中にパソコンを再起動させると、起動中にパソコンが動かなくなることがあります。この場合は、パソコンの電源を切り、本機と接続している USB 接続ケーブルを抜くか本機の電源を切ってからパソコンを起動してください。

●NTFS 形式でフォーマットしたカードを本機に入れて、パソコンと USB 接続すると、電源 / カードアクセスランプが点滅したままになります。
この場合、[Administrator(コンピュータの管理者)](もしくはこれと同等の権限を持つユーザー名)にしてログオンし、マイコンピュータからリムーバブルディスクアイコンを右クリックして、[取り出し]を選び、電源 / カードアクセスランプが点灯したのを確認してから、本機を USB クレードルから取り外し、カードを取り出してください。

■ SD-MovieStage を起動する(P49)

●PDF 説明書を読むためには Adobe Acrobat Reader 5.0 以上が必要です。(CD-ROM に同梱されています)ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、インストール画面の[Acrobat Reader のインストール]をクリックするか CD- ROM 内の[Acrobat Reader] フォルダーの[AcroReader51_JPN.exe]をダブルクリックし、メッセージに従って Adobe Acrobat Reader 5.0 をインストールしてください。

●SD-MovieStage のインストール中に DirectX 9.0b のインストールに失敗した場合は、インストール画面の[DirectX のインストール]をクリックするか CD-ROM 内の[DirectX90b] フォルダーの[dxsetup.exe] をダブルクリックし、メッセージに従って DirectX 9.0b をインストールしてください。

故障かな？と思ったら（Q&A）

1:　電源が入らない。

1-1: バッテリーやACアダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。

1-2: バッテリーは十分に充電されていますか。十分に充電されたバッテリーをお使いください。

2:　電源が入っていてもすぐに切れる。

2:　バッテリーが消耗していませんか。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを付けてください。

3:　記録できない。

3-1: カードが入っていますか。

3-2: SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると記録できません。

3-3: カードの容量は十分ですか。不要なデータは削除してください。

4:　静止画がきれいに撮れない。

4:　［静止画画質］を［ノーマル］にして、細かいものを記録すると、画像がモザイク状になることがあります。［ファイン］にして記録してください。

5:　映像や音声がおかしい。

5:　データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータはパソコンなどにも保存してください。

6:　動画や静止画の記録時間・枚数が本書の記載と大幅に異なる。

6-1: 記録される画像によって、記録時間・枚数は変動します。

6-2: 動画、静止画、音声、音楽のファイルを 1 枚のカードで使用すると、所定の記録時間・枚数よりも少なくなります。

7:　［×］マークや黒い画面が表示される。

7-1: ［×］マークはカード内のファイルが壊れていて、再生できないときに表示されます。

7-2: 形式の異なるデータを再生しようとすると画面が真っ黒になります。

8:　カードをフォーマットしても使えない。

8:　本機、またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。

9:　テレビと接続しても、映像が出ない。

9-1: テレビの接続端子を確認してください。（本機の映像をテレビに映すときは「入力端子」に、テレビの映像を本機に映すときは「出力端子」に映像 / 音声コード（付属）を接続してください）

9-2: 本機が［📷］モードになっていると、テレビに本機の映像は表示されません。

9-3: メニューの設定で［出力設定］が［LCD］になっているとテレビなどに映像が表示されません。［ライン］に設定してください。

10: USB クレードルに付けると、液晶モニターにカメラの映像が映らない。

10:　メニューの設定で［入力設定］が［ライン］になっている（［LINE］と表示中）と液晶モニターにカメラの映像が表示されません。［カメラ］に設定してください。

故障かな？と思ったら（Q&A）（つづき）

11: 記録・再生ができず、画面が動かなくなった。静止画・動画撮影時に液晶モニターが真っ黒のままになる。

11: 電源を切ってください。電源が切れないときは、USB クレードルから外し、バッテリーを取り出してください。そのあと電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、接続している電源を外し、お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」（P89 ～ 91）にお問い合わせください。

12: 静止画の再生時に、ステレオインサイドホンを接続しても、音声が聞こえない。

12: 静止画モード（静止画の記録時・再生時）は音声は聞こえません。

13: 音声（VOICE）ファイルや音楽ファイルを聞いていたら、急に液晶モニターが消灯した。

13-1:本機で音声ファイルの記録・再生を行うと、約 5 秒後に液晶モニターが消灯します。液晶モニターを開閉すると点灯しますが、何も操作しなければ、約 5 秒後に再び消灯します。液晶モニターは、再生終了後（または一時停止中）に点灯します。

13-2:メニューで［パワーセーブ］を［入］にすると、音楽ファイルの再生後、約 5 秒で液晶モニターが消灯します。

14: 記録した MPEG4 動画映像を電子メールで送りたい。

14: 本機で記録した映像をパソコンなどに取り込んで、電子メールに添付すると送ることができます。（付属のソフト SD-MovieStage を使うと便利です）
この場合、ファイルサイズの容量を 1 MB 程度にすることをおすすめします。1 MB の MPEG4 動画ファイルの記録時間は、SF（スーパーファイン）：約 8 秒、F（ファイン）：約 15 秒、N（ノーマル）：約 20 秒、E（エコノミー）：約 60 秒です。（電子メールで送れるファイル容量の上限はお使いの環境によって異なります。また、XF（エクストラファイン）で記録したファイルを送付しても、当社製 SD マルチカメラ SV-AV50 または SV-AV35 をお持ちでないと再生できません。（2003 年 10 月現在）
携帯電話に送る場合は、N（ノーマル）または E（エコノミー）で撮影してください。（お使いの機種によっては再生できない場合もあります）
MPEG4 動画ファイルを電子メールなどで送付した場合、再生するには受信側で Windows Media Player 6.4 以降が必要です。音声が出ない場合は専用のソフトウェア（G.726）をダウンロードする必要があります。Windows Media Player にはこのソフトの自動ダウンロード機能があります。インターネットに接続し、MPEG4 動画ファイルをダブルクリックすると、ソフトウェアが自動的にダウンロードされます。（Mac OS で再生する場合は、Windows Media Player for Macintoshが必要です）

15: USB 接続ケーブルを接続すると、Windows の［デバイスマネージャ］の［USB 大容量記憶装置デバイス］に緑色の［?］マークが表示される。

15: USB ドライバー（付属）をインストールせずに接続すると、OS によっては［?］が表示されます。USB 接続ケーブルを本機から抜いて、43 ページの手順で USB ドライバーをインストールすると表示されなくなります。

16: Windows Me 使用時に、USB 接続ケーブルを抜くと、［デバイスの取り外しの警告］が表示された。

16: Windows Me を使用している場合、USB ドライバー（付属）をインストールせずに接続していると、USB 接続ケーブルをそのまま抜いたときに警告メッセージが表示されます。USB ドライバーをインストールすると表示されなくなります。
（Windows 2000、Windows XP をお使いの場合は、48 ページの手順に従って、USB 接続ケーブルを外してください）

17: 画面に赤や青、緑、白の点が現れた。

17-1:液晶モニターの画面上には 0.01％以下の割合で、画素欠けや常時点灯するものがありますが、故障ではありません。（P73）

17-2:長時間連続で使用したり、周囲の温度が高いところで使用した場合に、本機内部の温度が上がり、画面に赤や青、緑、白の点が現れて静止画撮影時に記録されることがありますが、故障ではありません。
このときは本機の電源を切り、しばらく放置してください。

18: 本機で記録した音声ファイル（VOICE）をパソコンや他機で再生したい。

18: パソコンでは SD-MovieStage Ver. 2.5（付属）を使うと、再生や WAV 形式でのファイルの保存ができます。音楽再生（MPEG2-AAC/MP3 形式の音楽データの再生）機能搭載の当社製デジタルビデオカメラなどでは再生できません。（2003 年 10 月現在）

19: 旧バージョンの SD-Jukebox を持っているが･･･

19-1:旧バージョンの SD-Jukebox で記録した音楽ファイルも本機で再生できます。（バージョンによっては静止画を関連付けての再生ができない場合があります）

19-2:音楽ファイルが入ったカードは音楽ファイルを記録したバージョンの SD-Jukebox を使用し、チェックインしたあとにフォーマットしてください。
（詳しくは、SD-Jukebox の説明書をお読みください）

20: ジョグボール等を操作できない

20: ［● HOLD］が表示されていませんか？メニューボタンを約 2 秒以上押して表示を消すと操作できるようになります。

便利な情報

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

バッテリーパックや AC アダプターを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

禁　止

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

⚠危険

バッテリーパックを分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

●不要(寿命)になったバッテリーについては 72 ページをご参照ください。

バッテリーパックの端子部(⊕と⊖)に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

液漏れ・発熱・発火・破裂につながります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

AC アダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

バッテリーパックは、本機専用の AC アダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

⚠警告

ACアダプターのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- プラグは時々点検してください。

ACアダプターは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

- いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
- プラグは時々点検してください。

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、ACアダプターを抜く

火災・感電につながります。

ACアダプターを抜く

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを取り出してください。
- 販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、ACアダプターを抜く

火災・感電につながります。

ACアダプターを抜く

- バッテリーで使っている場合は、バッテリーを取り出してください。
- 販売店にご相談ください。

⚠警告

自動車など、乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

●歩きながら使うときも、周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

落雷すると、感電につながります。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

火災・感電・故障につながります。

●乳幼児にご注意ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

落下すると、けがや製品の故障につながります。

フラッシュの発光部分を手で触らない

フラッシュの発光後、発光部分に触れると、やけどの原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

不安定な状態で使わない

転落すると、死亡や大けがにつながります。

●安定した足場、安定した体勢を確保してください。

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししない

感電につながります。

●必ず、乾いた手で持ってください。

水をかけたり、ぬらしたりしない

内部に水が入ると、火災・感電・故障につながります。

●水が入ったときは、販売店にご相談ください。
●雨天、降雪中、海岸、水辺など、水がかかりやすいところで使うときは、ぬらさないようにご注意ください。

AC アダプターのコードやプラグを破損させない

無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、コードの破損の原因となり、火災・感電につながります。

●破損したときは、使うのをやめ、販売店にご相談ください。

⚠注意

分解や改造をしない

火災・感電・故障につながります。

- 修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
- お手入れ時で、部品の取り外しや取り付けなどが必要な場合は、説明書の指示に従ってください。

交流100ボルト～240ボルト以外では使わない
また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

付属のUSB接続ケーブルをUSB指定の端子以外には接続しない

ケーブルや機器の破損の原因となります。

- 必ず、USB　接続ケーブルを接続する前に、使用機器の端子がUSB端子であることを確認してください。

コードが張った状態で使わない

コードにつまずいて転倒したり、機器が破損する恐れがあります。

⚠注意

高温になるところに放置しない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約 60 ℃以上)になります。SD マルチカメラ、バッテリーなどを絶対に放置しないでください。熱で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると火災・感電の恐れがあります。

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、AC アダプターを抜く

誤って内部に触れると、感電する恐れがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災につながる恐れがあります。(カード保護のため、カードも取り出しておいてください)

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす恐れがあります。

●病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

本機の上に重いものを置いたり、のったりしない

重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障の恐れがあります。

⚠注意

指定以外のバッテリーを使わない

指定以外のバッテリーを使うと、液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする恐れがあります。

充電中や使用中は、機器の上に布などをかぶせない

熱で外装ケースが変形し、内部が発熱すると、火災・感電・故障の恐れがあります。

フラッシュ発光中に近くで発光部を直接見ない

強い光により、目をいためる恐れがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の恐れがあります。

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。

●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意

AC アダプターのコードを持って抜かない

コード破損の原因となり、火災・感電の恐れがあります。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところでは使わない

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると火災・感電の恐れがあります。

●３年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると、効果的です)
●費用についても、そのときお確かめください。

バッテリーが液漏れしたときは:

・万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
・液が目に入ったときは、 失明の恐れがあります。 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

■ ＳＤマルチカメラについて

磁気や電磁波が発生するところ(電子レンジやテレビ、ゲーム機、マイコンなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを一度取り出してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で記録映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりが入ると、本機の故障につながります。
- 海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。
  万一雨水や水滴がかかったときも、よく絞った布でふき、そのあと乾いた布でふいてください。

持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない
また、ズボンのポケットなどに入れない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。キャリングケース(付属)に収納してください。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを取り出しておいてください。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげることがあります。
- 柔らかい乾いた布でほこりをふいてください。汚れがひどいときは、台所用洗剤を水でうすめ布をひたし、よく絞って汚れをふき、柔らかい乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 本機の取り扱いについて

- **長時間使用すると、本機の温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。**
- 半年に一度ぐらいは本機の電源を入れ、動作させてください。

■ AC アダプターについて

- 必ず付属の AC アダプターをお使いください。
- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は１ｍ以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、電源を切った状態でも、最大約 0.1 W の電力を消費しています)
- AC アダプターの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)へ容易に手が届くようにしてください。

使用上のお願い(つづき)

■ バッテリーについて

リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーです。しかし、冬場の屋外などの低温(10℃以下)で、バッテリーが冷えている場合、バッテリーの使用時間が短くなる特性があり、動作しないことがあります。このようなときは、バッテリーをポケットに入れるなどして温かくしておき、撮影直前に本機に入れてください。(カイロなどをご使用になっている場合は、直接カイロがバッテリーに触れないようにお気を付けください。

長時間使用しないときは、必ずバッテリーを取り出す

- 入れたままにしておくと、本機の電源が切れていても、絶えず微少電流が流れています。これをそのままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなる恐れがあります。
- 長期間放置すると、自己放電していることがありますので、お使いになる前に充電してください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプターと USB クレードル(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P75)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に付けると、本機をいためます。

保存時のお願い

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度:15℃〜25℃、推奨湿度:40% 〜 60% です)
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温・多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因となります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

不要(寿命になったなど)バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱や火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。
- 充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。
詳細は、社団法人電池工業会小形二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。

- ホームページ:http://www.JBRC.com

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 被服をはがさないでください。
- 分解しないでください。

Li-ion

リチウムイオン
電池使用

■ つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が本機に起こった場合が「つゆつき」です。つゆつきが起こると、レンズがくもったり、正常に動作しない場合があります。つゆつきを起こさない心がけと、起こったときの処置を正しく守ってください。

つゆつきが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 車外から冷房の効いた車などに持ち込んだとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ

つゆつきが起こった場合の処置

- 電源を切り、1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。
- 本機を寒い場所から暑い場所に移すときは、つゆつきの発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れ、周囲の気温になじませてから、袋から取り出してください。

■ レンズについて

- レンズを触らないでください。レンズが汚れたときは、乾いた柔らかい布でふき取ってください。綿棒など先のとがったものでふき取らないでください。レンズに傷が付いたり、割れるなど本機の故障につながります。
- レンズがくもったときは、電源を切り、1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむと、くもりが自然に取れます。

■ 液晶モニターについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい、乾いた布でふいてください。
- 液晶モニターを強く押さえないでください。画面にムラが出たり、故障の原因になります。
- コントラストの激しい被写体にレンズを向けていると、液晶モニターにムラや残像が出る場合がありますが、異常ではありません。
- 温度差が激しい場所では、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点が表れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶モニターの画素については99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01% 以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。
これらはカードには記録されませんので、ご安心ください。

使用上のお願い(つづき)

■ カードについて

電源 / カードアクセスランプが点滅中(カードにアクセス中)は、カードを抜いたり、電源を切らない、また、振動や衝撃を与えない

カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。

使用後は、必ずカードを取り出して、保管する

- 使用後や保管、持ち運び時は、収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また手などで触れないでください。
- SDメモリーカード(別売)には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットができなくなります。戻すと、可能になります。

- 不適切な取り扱いにより、カードのデータが破壊されたり消失した場合は、弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご容赦ください。

■ miniSD™ カード(別売)について

- miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターを装着してご使用ください。miniSD™ カードのみを入れると、本機やカードが故障する場合があります。
- miniSD™ アダプターのみを本機に入れないでください。正常に動作しない場合があります。

■ 充電中の電源 / カードアクセスランプについて

充電中は電源ランプが点滅します。
(正常充電時は約 4 秒間隔の点滅(約 2 秒点灯・約 2 秒消灯))
電源 / カードアクセスランプの点滅速度が速いときや、逆に遅いとき(もしくは消灯時)は異常が起こっていると考えられます。
点滅速度によって、以下の状態が考えられます。

約 1 秒間隔で点滅(約 0.5 秒点灯、約 0.5 秒消灯):

- 本体やバッテリー、AC アダプターなどの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P89～91)にお問い合わせください。

約 12 秒間隔で点滅(約 6 秒点灯、約 6 秒消灯):

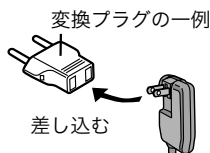
- バッテリーや周囲の温度が高い・低いとき、またはバッテリーが過放電されている場合です。充電はできますが、場合によっては正常充電までに数時間かかる場合があります。それでも充電できないときは、バッテリーや周囲の温度が高すぎる、もしくは低すぎる場合です。適温になるまで待ってから、再度充電してください。

消灯:

充電完了です。

- 充電を完了していないのに、電源 / カードアクセスランプが消灯しているときは、ACアダプターまたはバッテリーの故障と思われます。お買い上げの販売店、またはお近くの「修理ご相談窓口」(P89～91)にお問い合わせください。

海外で使う

ACアダプターは、自動で全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、下表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。
変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

ご使用にならないときは変換プラグをACアダプターから外してください。

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

> ACアダプターは、全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけるように設計しております。
> 市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

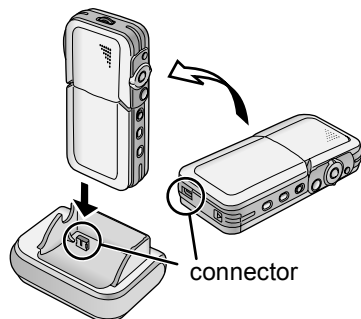
主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B.BF	イタリア	C
ウクライナ	C	オーストリア	C	オランダ	C	カザフスタン	C
ギリシャ	C	スイス	B.C	スウェーデン	C	スペイン	A.C
デンマーク	C	ドイツ	C	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C	ベラルーシ	C	ベルギー	C
ポーランド	B.C	ポルトガル	B.C	ルーマニア	C	ロシア	C
アジア							
インド	B.C	インドネシア	B.C	シンガポール	B.BF	スリランカ	B
タイ	A.BF.C	大韓民国	A.B.C	台湾	A	中華人民共和国	A.B.BF.C.S
ネパール	C	パキスタン	B.C	バングラデシュ	C	フィリピン	A.C.S
ベトナム	A.C	香港特別行政区	B.BF	マカオ特別行政区	B.C	マレーシア	B.BF.C
モルジブ	B	モンゴル	C				
オセアニア							
オーストラリア	S	グァム島	A	タヒチ	C	トンガ	S
ニュージーランド	S	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF.C.S	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B.C
ハイチ	A	パナマ	A	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A.C	ベネズエラ	A	ペルー	A.C	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	イラン	C	クウェート	B.C	ヨルダン	B.BF
アフリカ							
アルジェリア	A.B.BF	エジプト	B.BF.C	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B.C	ザンビア	B.BF	タンザニア	B.BF	南アフリカ共和国	B.C
モザンビーク	C	モロッコ	C				

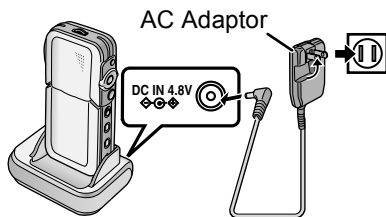
タイプ	A	B	BF	C	S
形状					
変換プラグ	不要です				

Operating Instructions

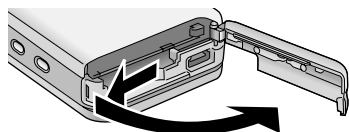
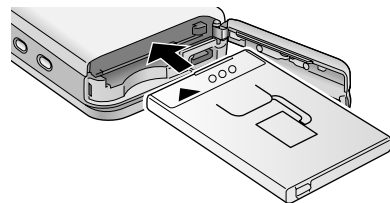
■Fitting on the USB cradle

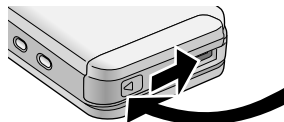
❶ **Place the SD Multi Camera on the USB cradle.**

●Place the SD Multi Camera on the USB cradle so that the mating connectors are in alignment.

❷ **Connect the AC Adaptor to the AC main socket.**

❸ **Connect the DC Input Lead to the [DC IN 4.8V] socket on the USB cradle.**

●The SD Multi Camera is ready for use.

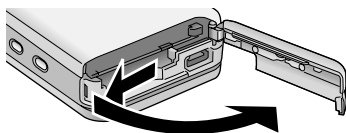
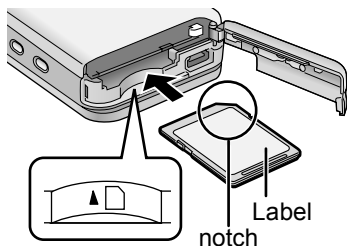
■Using the Battery

❶ **Slide and open the door.**

❷ **Insert the battery all the way.**

●Confirm the direction of the battery.

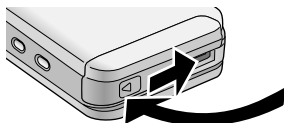
❸ **Close and lock the door while sliding it.**

❹ **Connect the DC Input Lead to the [DC IN 4.8V] socket on the USB cradle to charge the Battery. (Refer to the Figure on the LEFT.)**

●Note that the power of the SD Multi Camera is turned [OFF].

■Insert a SD Memory Card

❶ **Slide and open the door.**

❷ **Insert the SD Memory Card all the way in until it clicks.**

● Confirm the direction of the SD Memory Card.

❸ **Close and lock the door while sliding it.**

便利な情報

Operating Instructions (Cont.)

■Recording the Still Image/Moving Picture/ Voice

❶ **Set the Record/Playback mode switch to [📷].**

❷ **Press the [MODE] button until the desired mode is selected.**

- Pressing the [MODE] button switches the modes consecutively.

❸ **Press the Recording Start/Stop button.**

- Press the Recording Start/Stop button again to stop recording.
  (MPEG4, VOICE mode)

■Playing the Still Image/Moving Picture/ Voice/Music

❶ **Set the Record/Playback mode switch to [▶].**

❷ **Press the [MODE] button until the desired mode is selected.**

- Pressing the [MODE] button switches the modes consecutively.

❸ **Select a file by rolling the jog ball.**

❹ **Press the jog ball.**

- Pressing the jog ball again stops playing and the list screen reverts.

■Using the Menu Screen

❶ Select a desired mode.

❷ Press the [MENU] button.

●The Menu screen is displayed.

❸ Select an item by rolling the jog ball UP or DOWN.

❹ Set the item by rolling the jog ball LEFT or RIGHT.

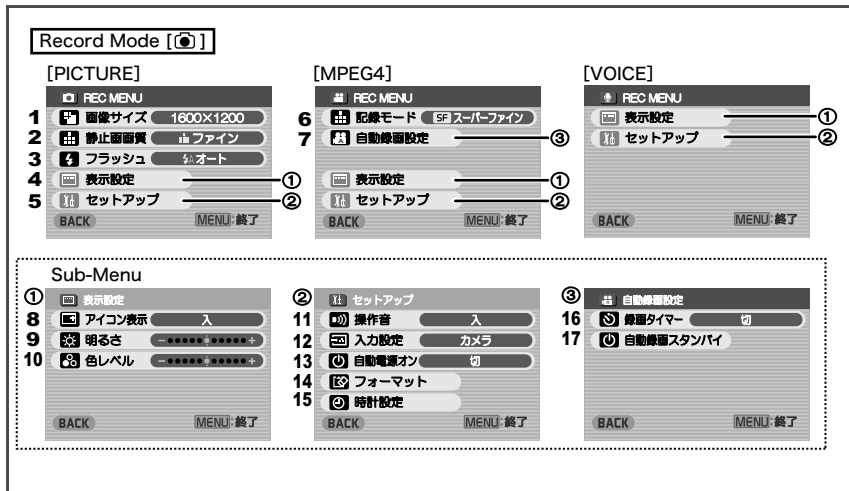
●Some items require a transition to the Sub-menu by pressing the jog ball for setting.

❺ Press the [MENU] button.

●The Menu screen goes OFF.

Operating Instructions (Cont.)

■Menu List

The following is a list of menus available on the SD Multi Camera.

Record mode [ ]

1 Still Image Size [画像サイズ]

Sets the size of the still image to be recorded. Select [1600 × 1200] for the largest image size. The other image qualities are [1280 × 960] and [640 × 480].

2 Still Image Quality [静止画画質]

Sets the quality of the still image to be recorded. Select [ファイン] for the highest image quality. The other image qualities is [ノーマル].

3 Flash [フラッシュ]

Select [入] to activate the flash when taking still images. Select [切] to deactivate the flash. Select [オート] to automatically activate the flash when necessary.

4 Display Setting [表示設定]

5 Initial Setting [セットアップ]

6 Record mode [記録モード]

Sets the image quality when an image is recorded in the MPEG4 format. Select [エクストラファイン] for the highest image quality. The other image qualities are [スーパーファイン], [ファイン], [ノーマル], and [エコノミー].

7 Automatic Record Setting [自動録画設定]

Sub-Menu

8 Display Mode [アイコン表示]

Turns the screen display ON or OFF. If the video signal from the external devices is recorded when this mode is turned [入], the screen display (superimposed characters) is also recorded.

9 Brightness [明るさ]

This sets the brightness of the LCD monitor. This setting does not affect the images actually recorded.

10 Color Level [色レベル]

This sets the color level of the LCD monitor. This setting does not affect the images actually recorded.

11 Beeper [操作音]

The beeper sounds at the time of recording, stopping, etc.
If this is set to [切], the beeper will not sound.

12 Input Select [入力設定]

Select [ライン] to input the video signal from external devices.

13 Automatic Power On [自動電源オン]

If this is set to [入], the SD Multi Camera is automatically turnd on, when the LCD Monitor is opend.

14 Format [フォーマット]

Normally, it is not necessary to format a Card. Format it if you wish to erase all the data (files) on the Card.

15 Date and Time Setting [時計設定]

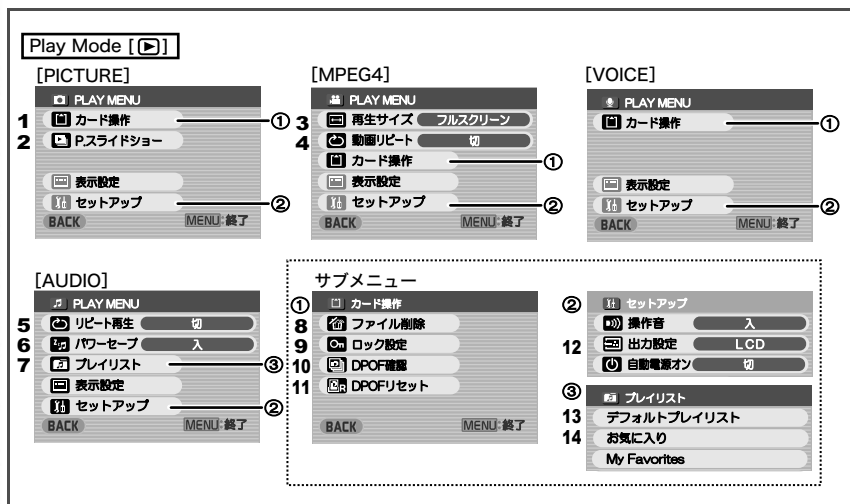
Year, month, day, and time are not set when you purchase the SD Multi Camera. Set the year, month, day, and time before using it.

16 Record Timer [録画タイマー]

During automatic recording, the recording automatically stops after the time set has elapsed.

17 Automatic Record Standby [自動録画スタンバイ]

When the video signal is input from external devices, recording automatically starts. The USB cradle is necessary to use this function.

Operating Instructions (Cont.)

Play Mode [▶]

1 Card Operation [カード操作]

2 P.Slideshow [P.スライドショー]

Plays the still images for approx. 3 seconds each based on the slideshow set by SD-MovieStage (supplied).

3 Play Size [再生サイズ]

Sets the image size of the MPEG moving images. Set to [フルスクリーン] to display the image on the entire screen. (The image quality is inferior to the one in [ノーマル] play.)

4 Repeat Play [動画リピート]

Plays a file (or files) repeatedly. Select [1 ファイル] to play it repeatedly. Select [全ファイル] to play all of them repeatedly.

5 Repeat Play [リピート再生]

Plays a file (or files) repeatedly. Select [1 ファイル] to play it repeatedly. Select [全ファイル] to play all of them repeatedly.

6 Power Save [パワーセーブ]

When this mode is turned [入], the monitor is turned off after playing a music file for approx.5 seconds.

7 Playlist Selection [プレイリスト]

If one or more playlists are recorded on the Card, select a playlist to be played. This unit does not allow playlists to be set. Use the software supplied.

Sub-Menu

8 Files Erase [ファイル削除]

Erases all the files in the mode in use. If you wish to erase only one image, press the [MENU] button and roll the jog ball while the image to be erased is being played (or play is being paused) until [ファイル削除] is displayed, then press the jog ball.

9 Lock Setting [ロック設定]

Locks all the files in the mode in use to avoid accidental erasure. If you wish to lock only one image, press the [MENU] button and roll the jog ball while the image to be locked is being played (or play is being paused) until [ロック設定] is displayed, then press the jog ball.

10 DPOF Check [DPOF 確認 **]**

Plays each DPOF-set file for approx. 5 seconds. If you wish to DPOF-set an image, press the [MENU] button and roll the jog ball while the image to be DPOF-set is being played until [DPOF 設定] is displayed, then press the jog ball.

11 DPOF Reset [DPOF リセット **]**

Select [DPOF リセット] to cancel the DPOF setting for all files.

12 Output Select [出力設定]

Select [ライン] to output the video signal to external devices.

13 Default Playlist [デフォルトプレイリスト]

Plays all the music files recorded using SD-Jukebox Version 4 (optional).

14 Playlist

When playlists are set for the music files recorded using SD-Jukebox Version 4 (optional), you can select your favorite playlist and listen to it.
The name of the “PLAYLIST” displayed on the menu screen varies according to the setting on the SD-Jukebox Version 4.

さくいん(アイウエオ順)

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

英・数字順

仕様

SD マルチカメラ

電源	AC アダプター使用時　:DC 4.8 V バッテリー使用時　:DC 3.7 V
消費電力	AC アダプター使用時　:2.0 W バッテリー使用時　:1.9 W (MPEG4 カメラ録画時)

撮像素子	1/3.2 inch インターライン型 CCD 撮像素子 RGB 原色フィルター内蔵
画素数	総画素数:約 211 万画素(有効画素数:約 195 万画素)
走査方式	インターレーススキャン方式
標準被写体照度	3000 ルクス
最低照度	60 ルクス
F 値	4.0
焦点距離	4.5 mm
35 mm 換算	35 mm
ズーム比	デジタルズーム 2.5 倍
撮像距離	レンズ前面より約 50 cm 〜∞
モニター	2 型液晶モニター (約 11 万 7 千画素)
フラッシュ	GN 約 3.5(内蔵)
記録メディア	SD メモリーカード
動画録再	XF(エクストラファイン):320 × 240 ドット(QVGA) (約 1.5 Mbps、30 fps) SF(スーパーファイン):320 × 240 ドット(QVGA) (約 1 Mbps、15 fps) F(ファイン):　320 × 240 ドット(QVGA) (約 420 kbps、12 fps) N(ノーマル):　176 × 144 ドット(QCIF) (約 296 kbps、12 fps) E(エコノミー):　176 × 144 ドット(QCIF) (約 100 kbps、6 fps)
静止画圧縮形式	JPEG 準拠
動画圧縮形式	MPEG4 準拠
音声圧縮方式	G.726 準拠
音楽伸張方式	MPEG2-AAC/MP3 (サンプリング周波数　32 k、44.1 k、48 k 対応) 2 CH　ステレオ

映像入出力	NTSC 方式　525 本　60 フィールド※ 1.0 Vp-p　75 Ω ※　AV ミニジャック	
音声入力	マイク：	モノラルマイクロホン（内蔵）
	ライン：	入力インピーダンス 10 kΩ 以上※ （AV ミニジャック）
音声出力	ヘッドホン 出力：	4.5 mW+4.5 mW 負荷インピーダンス 16 Ω （M3 ジャック）
	ライン：	負荷インピーダンス 10 kΩ 以上※ （AV ミニジャック）
外形寸法	約 幅 48.9 ×高さ 101 ×奥行 20 mm	
本体質量	約 103 g （バッテリーパック、SD メモリーカード含まず）	
使用時質量	約 120 g	
推奨使用温度	0 ～ 40 ℃	
許容相対湿度	10 ～ 80 ％	
バッテリー持続時間	連続使用：約 1 時間　（MPEG4 動画記録時） （付属のバッテリーパック使用時）	

※ USB クレードル装着時

AC アダプター

電源	AC100 – 240 V　50/60 Hz
入力容量	12 VA （100 V 時）/17 VA （240 V 時）
出力	DC 4.8 V　1.0 A

質量	約 70 g
外形寸法	約幅 49 ×高さ 16 ×奥行 65 mm

バッテリーパック

最大電圧	DC 4.2 V
公称電圧	DC 3.7 V
定格容量	530 mAh

質量	約 16 g
外形寸法	約幅 36 ×高さ 4 ×奥行 54 mm

保証とアフターサービス(よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は･･･
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は･･･

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

「本体」にはCD-ROMは含みません

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このSDマルチカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SDマルチカメラ
品　番	SV-AV50
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お買い上げの販売店が修理させていただきます。なお、修理料金については販売店にご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金 は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区		
札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151	**帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎ (0138)48-6631

便利な情報

保証とアフターサービス（よくお読みください）（つづき）

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎ (017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎ (018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎ (019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎ (022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎ (023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎ (0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎ (028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎ (027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎ (0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎ (048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎ (043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎ (03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎ (055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎ (045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎ (025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎ (076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎ (076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎ (0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎ (0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎ (054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎ (052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎ (0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎ (058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎ (0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎ (059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎ (077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎ (075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎ (06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎ (0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎ (073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎ (078)272-6645

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区		
鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎ (083)986-4050
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎ (086)292-1162	

四国地区		
香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	**高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎ (088)866-3142	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144
徳島 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125		

九州地区		
福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区	
沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0903

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　**長年ご使用のSDマルチカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか	・ＡＣアダプターが異常に熱い ・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・水や異物が入った ・映像が乱れたり、きれいに映らない ・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントからＡＣアダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	SV-AV50
販　売　店　名	☎（　　）		
お客様ご相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号
システム事業グループ
〒571－8503　大阪府門真市松葉町2番15号

F1003Kh0(　60 Ⓐ)

Panasonic　SDマルチカメラ　SV-AV50　取扱説明書